

はじめに

岐阜県博物館は昭和51年5月、岐阜県百年公園内に総合博物館として開館しました。以来、岐阜県に関わりのある人文、自然についての資料収集・整理・分類・保存、調査研究を重ね、その成果を常設展示、特別展示、資料紹介展示及び関連した講演会、観察会などの諸事業を通して広く県民への普及を図ってきました。平成7年7月にはマイ・ミュージアム棟が増設されて、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」やハイビジョン静止画制作システムなどの情報機器を整備し、「であい楽しい情報ステーション」をキーワードに参加体験機能を持つ博物館として拡充発展を図ってきました。

平成12年度の夏季特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」では、中日新聞の共催を得て、明治期にヨーロッパに輸出され珍重された七宝焼きや西浦焼きなどを紹介し、アメリカの博物館や中部や関西の愛好家からも好評を得ることができました。展示期間中に開催した「万国博覧会の華 七宝焼」名古屋市博物館学芸員小川幹生氏、「世界に進出した美濃焼」多治見市文化財保護センター小木曾郁夫氏、「万国博覧会と日本の工芸」東京国立博物館陶磁室長伊藤嘉章氏の講演は、多くの熱心な聴衆を魅了しました。また、「染付（印版）の湯呑みをつくろう」、「七宝のペンダントをつくろう」や「西浦の吹絵技法によるフェアリーランプの夕べ」などの催しものもたいへん好評でした。

秋季特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」では、岐阜新聞・岐阜放送の共催を得て、東濃地区はもとより、県内外から高い評価をいただくことができました。また、関連事業として東濃地方で開催した自然観察会「サワギキョウを見る会」、「モウセンゴケのじゅうたんをのぞこう」や東濃森林管理署の皆さんによる「ヒノキのネームプレートづくり」、サイエンスワールドにおいて実施した「ワクワク草木染め体験」などの催しものには予想を上回る多くの皆さんにご参加をいただき、自然に親しんでいただくことができました。

資料紹介展「はくせいほうんちしない～さるやきつねの巻～」、特別陳列「描かれた街道～国芳、広重の中山道～」、年間8回のマイミュージアムギャラリー展示、当館共催で開催された（財）岐阜県文化財保護センター設立10年の特別企画「いにしへの美濃と飛騨」などにつきましても、それぞれ特色のある展示とすることができました。資料収集では、初代・二代豊国作の「市川十郎代々」、加藤清正書状など59点、鳥類剥製標本、タルボサウルス頭骨など78点を購入しました。また、民俗、植物標本など多数の寄贈を得ることができました。また、マイ・ミュージアムでは館蔵資料のデータベース化も進みました。

平成12年度を通観してみると、夏季特別展、秋季特別展ともに新聞社との共催で、郷土の学術的な調査研究の成果を展示したり、研究団体や地域の方々のご協力やご支援をいただいで現地で講座を開催するなど新しい取り組みを進めました。さらに、県民の皆さんに気軽に参加していただき誰にでも楽しんでいただけるように、ハンズ・オンなどを取り入れた参加体験型の事業を増やしました。

平成13年度には、夏季特別展として、明治から昭和初期に日本、中国、朝鮮半島で収集されためずらしい鳥の標本などを展示し、貴重な鳥類の生態や保護の実態を分かりやすく紹介する「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」、秋季特別展として、美濃でも舞台をつとめ、江戸時代を代表する歌舞伎役者といわれる七代目市川十郎の生涯をたどると共に彼の姿をよく描いた浮世絵師・歌川国貞、国芳の役者絵や木曾街道シリーズの浮世絵を展示する「七代目市川十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」を計画しています。その他、資料紹介展「ようこそ 石の世界へ!」、「わたしの徳山～増山たづ子の故郷の記録～」、日本まんが共和国博物館交流事業特別企画「信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～」、（財）岐阜県文化財保護センターによる発掘速報展「いにしへの美濃と飛騨」などの企画展をはじめ、マイミュージアムギャラリーの展示、博物館講座、講演会、たのしい博物館、自然観察会、特別行事なども計画しています。また、県民がITの基礎技能を習得することを目的とした岐阜県IT基礎技能講習会を当館においても12講座予定しています。

ここに平成12年度の事業記録と、平成13年度の事業計画の概要を紹介する館報24号を刊行しました。ご高覧いただき、ご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

ふやしたいね 心の宝物

平成13年4月

岐阜県博物館長 高橋 宏之

目 次

はじめに

I 博物館概要

- 設置目的 3
- 基本的性格と方針 3
- 沿革 4
- 施設・設備 5

II 平成13年度 組織・運営

- 組織 7
- 事業計画 7

III 平成12年度のあゆみ

- 職員 9
- 日誌抄 10
- 岐阜県博物館協議会 10
- 実施事業の概要 11
- 特別展
 - 1 「海を越えた明治」 12
 - 2 「すばらしき東濃の自然、再発見」 13
- 資料紹介展
 - 「はくせいほうんちしない」 14
- 特別陳列
 - 「描^{えが}かれた街道」 15
- マイミュージアムギャラリー 16
- (財)岐阜県文化財保護センター特別企画 18
- 研究・資料収集活動
 - 自然部門 19
 - 人文部門 23
 - マイ・ミュージアム部門
 - 1 マルチメディア情報センター 25
 - 2 マルチメディア工房 26
- 教育普及活動 27
- 図書資料寄贈者芳名一覧 30
- 利用状況 33
- 博物館関係団体 33

IV 利用案内 35

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を公開し、併せて、教育普及活動を行うことにより広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・ 岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集、保管、展示、調査研究およびそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・ 県内外の博物館および相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・ 学校教育・社会教育との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・ マルチメディアシステムを活用し、「ハイパーハイビジョン風土記」を主とした地域情報や博物館資料などの情報の収集、加工、発信、受信を行い、情報化社会に対応した博物館を目指す。
- ・ 資料の収集および保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と特別展示とする。

常設展示は、総合展示と課題展示とし、それぞれ人文、自然の2部門に分ける。総合展示は、だれにも親しめるよう平易な展示を心掛け、本県の歴史の発展の概要と、自然環境の概要を理解しやすく展示する。課題展示は、内容において、前者よりやや高度なものとする。

特別展示は、特定の企画とテーマを設けて、展示をする。

展示の方法は、(ア)生涯学習の場として、幅広い層に親しめる展示 (イ)資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示 (ウ)各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示 (エ)できる限り実物資料の展示をするが、更に、図表、模型等多種類の資料も

活用 (オ)視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える設備 (カ)明確で分かりやすい解説とする。

展示室の主題と内容は次のとおりである。

○人文展示室1（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」－原始時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を分かりやすく展示する。

○人文展示室2（人文課題展示）

主題「郷土の民俗と美術工芸」－特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

○自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然とおいたち」－郷土の自然の概要を生態的に分かりやすく展示する。

○自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」－特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

○特別展示室（特別展示）

特定の企画とテーマを設けて年に数回展示する。

(3) 調査研究

- ・ 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・ 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）

・マイミュージアムギャラリー

個人などによって収集、所蔵されているコレクションを公開展示する。また、生涯学習の成果発表の場など多様な活用を図り、県民文化の交流の拠点とする。

・ハイビジョンホール

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」により、岐阜県の歴史、文化、産業、自然などをハイビジョンで提供するほか、各種のハイビジョンソフトやハイビジョン放送を放映する。また、マルチメディア情報機器を活用し、各種の講演、研修会等の場とする。

・マルチメディアスタジオ

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」を一人ひとりが自在に検索し、楽しみながら学習できる場とする。

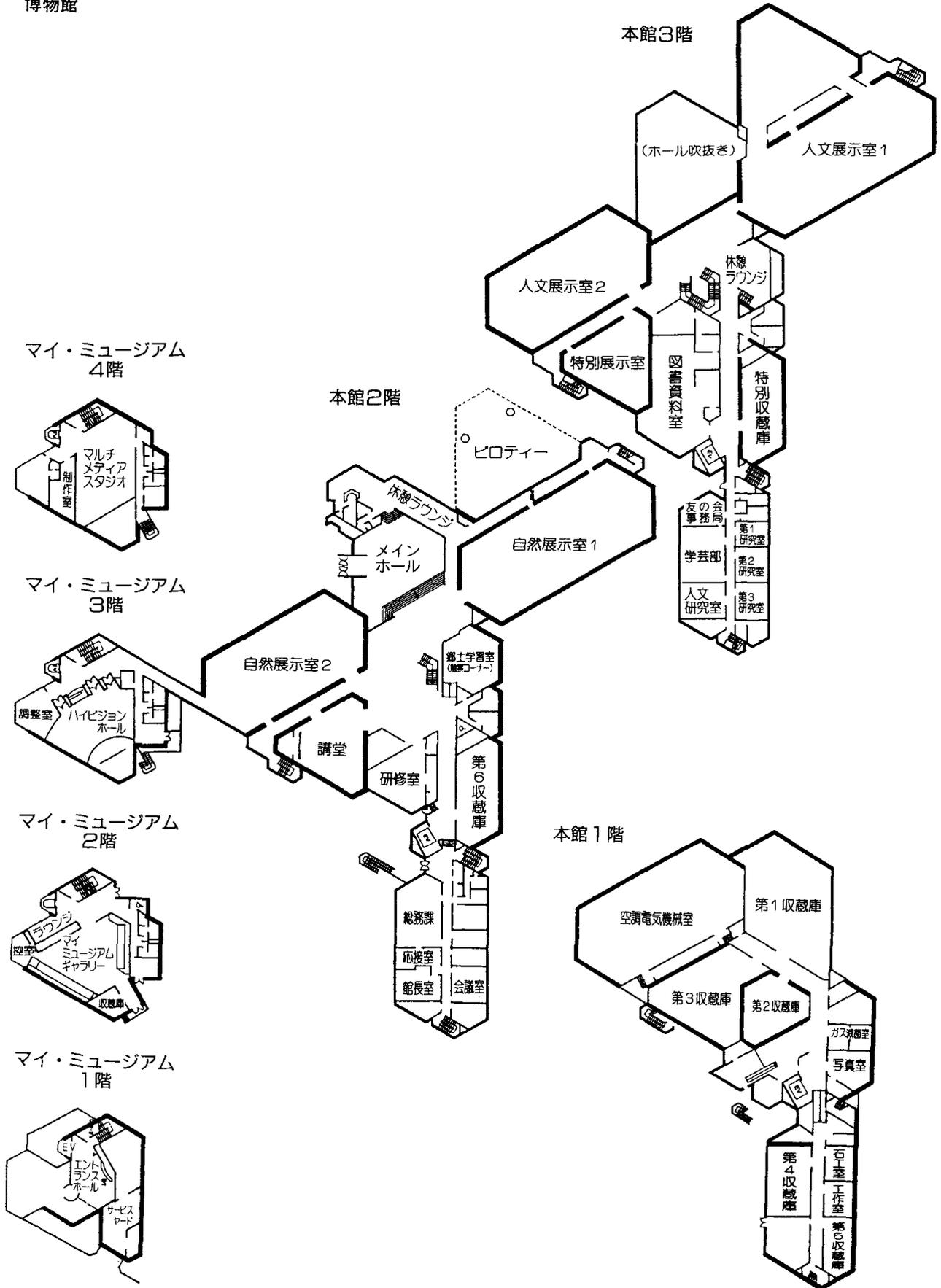
また、マルチメディア機器の利用提供や技術的支援により県民のソフトづくりの工房（マルチメディア工房・ぎふ）としての役割を拡大する。

〔沿革〕

和46年3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	10月	開館10周年記念式典を挙行 開館10周年記念展「ふるさとの祭り」	平成7年3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成 ハイパーハイビジョン風上記「ひだ・みの紀行」美濃路編ソフト完成
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	昭和62年4月	特別展「飛騨の弥生時代」 入館者110万人を突破	4月	特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示
6～9月	博物館懇談会を設ける	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行（役公開）
昭和47年4月	博物館開設準備室を設置 委員会を設ける	10月	特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
昭和48年8月	起工式挙行	昭和63年1月	自然展示室Ⅰを改装	10月	特別展「美濃・飛騨の古史史発掘―律令国家の時代―」 入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催） 県下第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設
昭和49年3月	展示実施計画樹立	4月	特別展示室ショーケース改修	11月	円空シンポジウム「世界における円空」
10月	定礎式	7月	特別展「ふるさとの湿原」 中部未来博'88記念展「中山道―美濃十六宿」	平成8年5月	入館者170万人を突破
昭和50年3月	展示工事着手	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
7月	本館建築竣工	10月	特別展「中生代の化石」 入館者120万人を突破	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
昭和51年1月	展示工事完了	平成元年4月	特別展「濃飛の古墳時代」	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏
5月	開館記念式典挙行（一般公開） 「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	平成9年3月	ハイパーハイビジョン風上記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成
7月	皇太子・同妃殿下行啓	11月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者10万人を突破	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン―江戸の学問と芸術
8月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者10万人を突破	平成2年4月	特別展「輪中と治水」	9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」 入館者180万人を突破
10月	入館料徴収開始	7月	特別展「白山の自然」 「恐竜足跡化石レプリカ除幕式グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち） 岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	11月	欄橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”―来るべき世紀の新しい博物館を目指して―」財団法人日本博物館協会表彰
昭和52年5月	特別展「熊谷守一展」 入館者20万人を突破	10月	特別展「ふるさとの木文化」	平成10年3月	ハイパーハイビジョン風上記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサルズ資格標本展示
7月	特別展「郷土の化石展」	12月	岐阜県博物館協議会から中間答申	4月	ハイパーハイビジョン風上記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風上記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
11月	特別展「鉄斎」	平成3年3月	岐阜県博物館案内標識を設置	7月	特別展「つものかぶとむし」
昭和53年4月	入館者30万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」 特別展「世界のコガネムシ」	4月	特別展「ふるさとの木の文化」	9月	特別展「能面へのいざない（白山山麓から）」
7月	特別展「世界の貝」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	平成11年7月	特別展「恐竜時代―モンゴルと手取層群の恐竜たち―」
10月	特別展「能面と装束」	10月	置県120年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島―その自然と歴史―」 入館者140万人を突破	7月	入館者190万人を突破
昭和54年4月	入館者40万人を突破 特別展「濃飛の先史時代」 特別展「世界の貝」	平成4年3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申	9月	特別展「恐竜時代」入館者4万人突破
7月	特別展「世界の貝」	4月	特別展「飛騨のあけぼの・交流する細文・古代人―」	10月	特別展「水とまつり―古代人の祈り―」
10月	特別展「濃飛の文人」	7月	特別展「恐竜王国・恐竜・謎とロマン」	10月	特別陳列「円空展―魂を水に刻んで―」
11月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」 入館者150万人を突破	平成12年7月	特別展「海を渡った明治・ヨーロッパが愛した焼き物の美―」
昭和55年4月	特別展「室厩治水と摩羅藩」	平成5年3月	特別展「上と姿の芸術」	9月	特別展「すばらしき美濃の自然、再発見―巨大ヒノキが見てきた生き物たち―」
5月	入館者50万人を突破	4月	29日大型は乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	11月	入館者200万人を突破
7月	特別展「化石の世界」	9月	特別展「失われゆく植物」		
10月	特別展「森虫山人」	10月	「ハイパーハイビジョン風上記」イメージシミュレーションソフトの完成		
昭和56年4月	特別展「美濃の絵馬」	11月	「ハイパーハイビジョン風上記」イメージシミュレーションソフトの完成		
5月	入館者60万人を突破	平成6年1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式		
7月	特別展「御岳山は生きている」	3月	大型は乳類足跡化石を展示		
10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	4月	特別展「川に生きる―水運と漁業―」		
昭和57年4月	特別展「高賀山の信仰」 入館者70万人を突破	8月	恐竜の歯等莊川村で発見		
7月	特別展「ふるさとの植物」	9月	特別展「美濃山地の自然」		
10月	特別展「東洋の貨幣」	10月	入館者160万人を突破		
昭和58年4月	特別展「岐阜県の考古遺物」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）		
5月	入館者80万人を突破				
7月	特別展「長良川」				
10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」				
昭和59年4月	特別展「濃飛の戦国武将」				
7月	特別展「ふるさとの昆虫」				
8月	入館者90万人を突破				
10月	学習ビデオスタジオコーナー設置				
	特別展「濃飛の蘭学」				
昭和60年4月	特別展「濃飛の縄文時代」				
7月	特別展「鉱物の世界」				
10月	特別展「美濃の刀剣」 入館者100万人を突破				
12月	自然展示室Ⅱを改装				
昭和61年4月	特別展「徳山の四季とくらし」				
7月	特別展「奥飛騨の自然」				
9月	人文展示室Ⅰを改装				

〔施設・設備〕

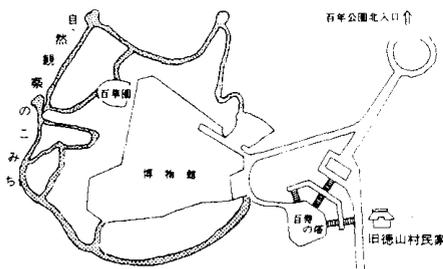
1 博物館



・主要室名及び面積

本館	室名	面積(m ²)	ミュージアム	室名	面積(m ²)
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0		2階	ミュージアムギャラリー
	第3収蔵庫	192.0	収蔵庫		25.3
	第4収蔵庫	99.4	収蔵庫		18.5
	第5収蔵庫	55.0	3階	ハイビジョンホール	192.3
自然展示室 I	583.8	調整室		47.0	
2階	自然展示室 II	478.8	4階	マルチメディアスタジオ	206.3
	自然郷土学習室	95.4		制作室	31.2
	講義室	174.5		応接室	43.8
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
3階	人文展示室 I	942.2			
	人文展示室 II	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.0			
	特別収蔵庫	142.8			

2 館外施設



(1) 自然観察のこみち

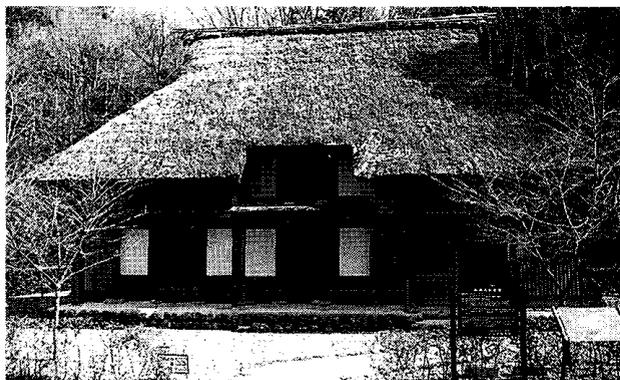
館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が3ヶ所、万葉集の植物の案内、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

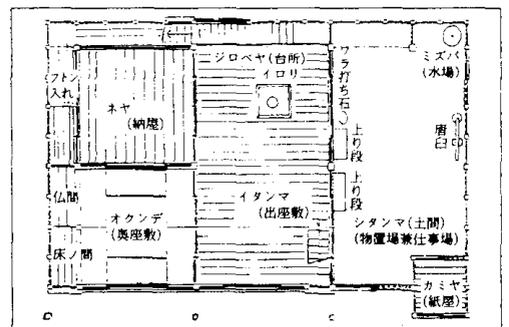
なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、40本の樹木にQ&Aパネルを設置している

(2) 旧徳山村民家

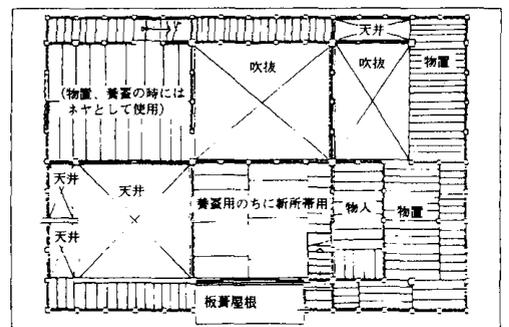
徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり藤橋村になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村に入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。



- ・様式 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材 ブナ・トチ
- ・建面積 120.97m²
- ・延面積 197.48m²
- ・間取り 下図参照
- ・建築年代 幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根 入母屋、切り落とし窓つき



▲1階間取り図



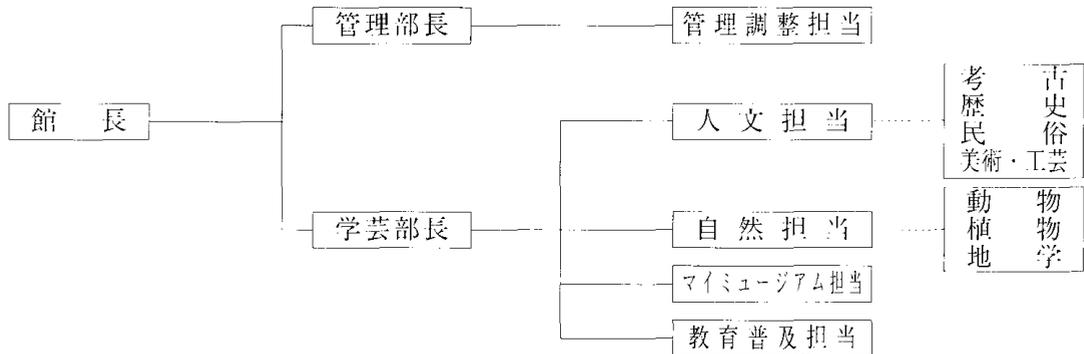
▲2階間取り図

Ⅱ 平成13年度 組織・運営

〔組織〕

平成13年4月現在

1 機構



2 職員

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	高橋 宏之	業務嘱託員	小原 眞紀子	学芸主事(地学)	古田 靖志
[管理部]		〃	西村 千恵美	主任(動物)	説田 健一
教育委員会事務局参事兼管理部長	宗宮 正道	[学芸部]		学芸嘱託員(地学)	河尻 清和
管理調整担当		学芸部長	遠藤 俊治	マイ・ミュージアム担当	
課長補佐	古川 司朗	人文担当		学芸主事	岩田 正雄
主	小川 百合子	課長補佐	安田 昌治	課長補佐	熊崎 康文
〃	小山 田郁子	課長補佐(考古)	坂口 浩之	学芸主事	江口 健治郎
〃	小池 裕紀	〃(歴史)	早川 克司	教育普及担当	
主	小林 夕香理	(兼)課長補佐(民俗)	青木 靖浩	課長補佐	奥村 正彦
業務嘱託員	小河 合紀	主任(美術工芸)	岩佐 伸一	(兼)課長補佐	鎌田 嘉彦
〃	佐伯 麻里	自然担当		学芸嘱託員	富田 幸四郎
〃	佐井 島美	課長補佐	石田 克	〃	戸塚 幹
〃	小平 江里子	課長補佐(植物)	井上 好章		

〔事業計画〕

1 展示活動

展示名	期間	主な展示内容
常設展	通年	自然展示室は「郷土の自然とおいたち」と「郷土のさまざまな自然」をテーマに岐阜県の大地ができたようす、郷土の自然とあらし、ふるさとの動物・植物・岩石を展示。人文展示室は「郷土のあゆみ」と「郷土の民俗と美術工芸」をテーマに郷土の原始時代から現在に至る歴史的な遺産や伝統的美術工芸品等を紹介。
資料紹介展 「ようこそ 石の世界へ！」	4/18(水) ～ 7/8(日)	岐阜県内に分布する岩石をはじめ、化石や世界の鉱物、不思議な石など岐阜県博物館が収蔵している標本の中から魅力ある「石」を展示する。石の魅力を自然と人との関わりを通して紹介する。
夏季特別展 「あのころいた鳥」	7/20(金祝) ～ 9/16(日)	明治から昭和初期に日本、中国、ロシア、朝鮮半島で収集されためずらしい鳥の標本を中心にレッドデータブックに掲載されている鳥類の剥製を展示し、貴重な鳥類の生態や保護の実態を分かりやすく紹介する。
秋季特別展 「七代目市川團十郎と 国貞、国芳」	9/30(日) ～ 11/4(日)	江戸時代を代表する歌舞伎役者、七代目市川團十郎は美濃でも舞台をつとめたいへんな評判を得たという。彼の生涯をたどると共に、彼の姿をよく描いた歌川国貞、国芳の役者絵や木曾街道シリーズの浮世絵を展示する。
発掘速報展 「いにしえの美濃と 飛騨」	11/17(土) ～ 12/16(日)	(財)岐阜県文化財保護センターが発掘調査・研究した美濃と飛騨の遺跡に関わる資料を展示し、当時の人々の生活やその背景を紹介する。
資料紹介展 「わたしの徳山」	12/23(日祝) ～ 2/3(日)	増田たづ子氏は長年にわたって故郷・旧徳山村の自然やそこで暮らした人々を写真に撮ってこられた。氏から寄贈された貴重な写真パネルを展示・紹介する。
日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画 「信長、安土より来る」	2/9(土) ～ 3/10(土)	安土城考古博物館の所蔵品の中から、安土桃山時代の武将や文化に関わる文書や絵図書籍等、信長・秀吉を中心に歴史資料を展示・紹介する。
マイミュージアムギャラリー		県民の生涯学習の成果としてのコレクションや作品を期間を決めて展示する。(次頁下表参照)

Ⅲ 平成12年度のあゆみ

〔職員〕

1 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	遠藤 祐神	[学芸部]		学芸主事	江口 健治郎
次長兼総務課長 〔総務課〕	伊藤 金夫	学芸部長	遠藤 俊治	課長補佐兼教育普及係長	奥村 正彦
課長補佐兼総務係長	古川 司朗	課長補佐兼人文係長	安田 昌治	(兼) 課長補佐	鎌田 嘉彦
主査	山田 郁子	課長補佐(歴史)	松田 千晴	学芸嘱託員	富田 幸四郎
〃	小池 裕紀	〃(考古)	坂口 浩之	〃	戸塚 幹男
主任	木嶋 祐子	(兼)学芸主事(民俗)	青木 靖浩		
主任	小林 夕香理	主事(美術工芸)	岩佐 伸一		
業務嘱託員	市原 麻利子	課長補佐兼自然係長	鹿野 勘次		
〃	河合 紀枝	課長補佐(植物)	井上 好章		
〃	佐伯 麻里	学芸主事(地学)	古田 靖志		
〃	小島 紀美	主任(動物)	説田 健一		
〃	平井 江里子	学芸嘱託員(地学)	川尻 清和		
〃	小原 眞紀子	マイ・ミュージアム係長	岩田 正雄		
		学芸主事	熊崎 康文		

2 異動

転出 学芸部長 古川 和明
 課長補佐兼人文係長 長嶋 俊之
 課長補佐 浅井 正美
 学芸主事 安藤 善之
 主任 高橋 昭人

転入 学芸部長 遠藤 俊治
 課長補佐兼人文係長 安田 昌治
 学芸主事 古田 靖志
 学芸主事 江口 健治郎
 主任 山田 郁子

退職 業務嘱託員 池村 るみ

新任 業務嘱託員 小原 眞紀子

3 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡 忠良
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克美
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹彦
5	昭和59年	関谷 美智男
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照夫
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利光

	在職期間(年度)	氏名
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀幸
9	平成3年～平成4年	篠田 幸男
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男
11	平成7年～平成8年	清水 廣美
12	平成9年～平成10年	高山 晃
13	平成11年～平成12年	遠藤 祐神

〔日誌抄〕

平成12年度

4. 1 「岐阜県博物館報」第23号発行
 1 人事異動に伴う辞令交付
 5 マイミュージアムギャラリー「漆喰彫刻・家紋の美」(～5月7日)
 8 資料紹介展「はくせいはいらんちしない」(～6月11日)
 16 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう1」
 22 たのしい博物館「ハイビジョンでみる ふるさと岐阜」
 29 特別行事「グリーンアドベンチャー」
 たのしい博物館「火起こし器を作ろう」
 5. 3 特別行事「響け！和太鼓」
 5 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう【しかけ】」
 6 博物館講座「バードカービング教室1、同教室2」
 8 岐阜県博物館友の会総会
 14 マイミュージアムギャラリー「文庫の世界」(～6月18日)
 16 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう【採集】」
 28 たのしい博物館「化石をつくろう1」
 6. 2 イコム日本委員会総会(於：東京)
 10 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう①」
 10 第1回博物館サポーター研修会
 11 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう2」
 18 たのしい博物館「陶芸教室・茶碗をつくろう 午前の部・午後の部」
 24 新収蔵品の紹介「ふるさとの浮世絵」(～7月9日)
 24 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう②」
 25 マイミュージアムギャラリー「小松松溪作品展」(～8月6日)
 27 日本博物館協会評議員会(於：東京)
 28 全国博物館館長会議(於：東京)
 29 全国科学博物館協議会総会(於：東京)
 7. 2 たのしい博物館「竹細工」
 8 たのしい博物館「クイズで探検」
 11～12 東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部理事会・総会(於：横浜市)
 16 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう③」
 20 特別展「海を越えた明治」(～9月10日)
 22 たのしい博物館「のぞいてみよう楽しいインターネットの世界」
 23 たのしい博物館「染付の湯呑み(印刷)をつくろう」
 29～30 たのしい博物館「恐竜ナイトツアー・夜の博物館探検」
 30 特別展講演会「万国博覧会の華・七宝焼」
 8. 5 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう④」
 6 特別展講演会「世界に進出した美濃焼」
 10 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう2【しかけ】」
 12 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう3」
 13 マイミュージアムギャラリー「映画の中の岐阜県」(～9月17日)
 13 博物館講座「美術工芸品に見る日欧文化の交流」
 15 マイミュージアムギャラリー「関連行事映画「ふるさと」上映」
 16 マイミュージアムギャラリー「関連行事映画「さくら」上映」
 17 たのしい博物館「化石をつくろう2」
 19 たのしい博物館「マルチメディアで調べよう！日本の歴史」
 20 特別展講演会「万国博覧会と日本の工芸」
 24 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう2【採集】」
 26 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう⑤」
 27 自然観察会「サワギギョウを見る会」
 27 たのしい博物館「七宝のペンダントをつくろう 午前の部・午後の部」
 9. 2 たのしい博物館「西浦の吹絵技法によるフェアラランブの夕べ」
 3 自然観察会「モウセンゴケのじゅうたんをのぞこう」
 10 たのしい博物館「インターネットで広がる充実ライフ情報」
 15 たのしい博物館「竹籠をつくろう」
 17 たのしい博物館「ハイビジョンでみる ふるさと岐阜」
 24 特別展「すばらしき東濃の自然、再発見」(～11月26日)
 26 マイミュージアムギャラリー「いにしへの韓国陶磁器文化の魅力」(～11月5日)
 26 たのしい博物館「クイズで探検！博物館」
 28 テレビ電話を用いて坂内小学校との遠隔授業を実施(1回目)
 10. 6 テレビ電話を用いて坂内小学校との遠隔授業を実施(2回目)
 7 特別講演会「ヒトツバタゴ(なんじゃもんじゃ)の不思議」
 8 たのしい博物館「徳山のくらしを体験しよう」
 14 たのしい博物館「マルチメディアで植物ウォッチング」
 15 たのしい博物館「ヒノキのネームプレートづくり」
 22 たのしい博物館「リクワク草木染めの体験」
 28 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう3【しかけ】」
 29 特別行事「化石ゼミナール1・化石をつくろう」
 29 特別行事・講演会「化石ゼミナール2・岐阜が熱帯であったころ」
 30～11/1 東海三県博物館協会交流研修会(於：岐阜市)
 11. 3 第44回岐阜県児童生徒科学作品展中央展(～11月5日)
 3 特別行事「百年公園・博物館を写生しよう」
 5 特別行事「化石ゼミナール3・化石をさがそう」
 6 友の会探訪の旅(奈良)
 8 全国博物館大会(於：仙台市)
 11 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう3【採集】」
 12 マイミュージアムギャラリー「パンフラーの楽しみ」(～12月17日)
 12 たのしい博物館「あなたもそばうち名人」
 12 たのしい博物館「森の造形教室」
 19 特別展講演会・文化講演会「東濃のミカワバイケイソウを探る」
 25 たのしい博物館「マルチメディアで探検！恐竜の世界」
 12. 3 たのしい博物館「ひこうき風をつくろう」
 9 特別企画(財)県文化財保護センター出土遺物展「いにしへの美濃と飛騨」(～3月5日)
 10 特別企画講演会「縄文時代の山と海のくらし」
 17 たのしい博物館「わら細工・正月の飾りをつくろう」
 23 たのしい博物館「花もちをつくろう」
 1. 4 マイミュージアムギャラリー「楽しい世界の資料紹介展・アジア編」(～2月4日)
 6 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう4～七草ウォッチング」
 7 特別行事「七草がゆを食べよう」
 14 特別企画講演会「みえてきた美濃、飛騨の姿」
 14 博物館講座「ホームページ制作講座①」
 28 博物館講座「ホームページ制作講座②」
 2. 4 自然観察会「百年公園のバードウォッチング」
 11 マイミュージアムギャラリー「テラコッタの魅力」(～3月20日)
 18 博物館講座「ホームページ制作講座③」
 24 資料紹介展「描かれた街道」(～3月31日)
 25 たのしい博物館「昔のくらしを体験しよう」
 25 第2回岐阜県博物館サポーター研修会
 3. 4 博物館講座「インターネット技術の進化と現状」
 11 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう5」
 18 博物館講座「中出道と宿場町」
 25 たのしい博物館「クイズで探検！博物館」

〔博物館協議会〕

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例(昭和51年)第2条及び第3条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏名	勤務先	現職名
金山 良典	(株)岐阜新聞社	常務取締役
篠田 薫	学校法人篠田学園	かぐや第二幼稚園長
高木 美津枝	岐阜市立木之本小学校	岐阜県小学校校長会
田口 義嘉壽	西濃運輸(株)	カンガルーメセナ協議会長
◎上屋 斉	(株)大垣共立銀行	(株)大垣共立銀行取締役名誉会長
寺田 隆	NHK岐阜放送局	NHK岐阜放送局長
富田 幸雄	学校法人富田学園	岐阜県私立中学高等学校協会長
苗村 和男	(株)中日新聞社	(株)中日新聞社岐阜支社長
早川 万年	岐阜大学	岐阜大学教育学部助教授
福田 莞爾	岐阜県博物館友の会	岐阜県博物館友の会長
○堀 幹夫	岐阜女子大学	岐阜女子大学学長
渡 辺 文雄	揖斐川町大和公民館	岐阜県公民館連合会長

◎会長 ○会長代理

任期は平成12年7月26日～平成14年7月25日

(平成13年3月31日現在 五十音別)

〈開催状況〉

月日 平成12年10月3日

場所 岐阜県博物館 講堂

議事 ・博物館の運営について

・博物館の新しい試みー

〔実施事業の概要〕

平成12年度の夏季特別展は、「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」を開催した。この特別展に展示された陶磁器や七宝焼は、明治期に日本で製作され、万国博覧会などをとおして欧米に輸出された作品で、近年、逆輸入されたものである。これらの展示資料の多くは、個人が一点、二点程を所有してみえるというものであった。これら一点、一点を借用し、一同に集めて、明治の美意識と技を作品に語らせた展示は、県民参加型の展覧会に新たな可能性を示唆した。

また、秋季特別展、「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」は、担当者の緻密な調査研究の成果を発表する調査研究報告展であった。その中には、地域の研究団体や研究者の積極的な協力や提案がみられ、豊富な内容の展示となり来館者の多くに好評を博した。この展覧会は、地域の多くの研究ボランティアの協力が得られたという視点からみると、県民の生涯学習やボランティア活動を特別展に取り込むという新しい展覧会の在り方を示した。

いずれの特別展も、今後の当館の展示活動には、貴重な足跡となった。

他方、本年度は特別展の監視、案内、催し物の受付などにサポーターの参加がありこの面でも一歩前進した。

1 調査研究活動

人文関係では、主に来年度秋季特別展「七代目岡十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」の準備調査と中山道をテーマにした資料の調査研究をすすめた。

自然関係では、来年度夏季特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」の準備調査を全国規模

ですすめた。また、恐竜学術調査団の県内手取層群の調査を行った。

2 展示活動

下の表に示すように、特別展2回、資料紹介展1回、特別陳列1回、(財)岐阜県文化財保護センター主催の特別企画展1回を開催した。また、マイミュージアムギャラリーの展示を8回実施した。

3 資料収集活動

人文関係では、ふるさと岐阜に関連した浮世絵などの美術資料や徳川秀忠御内書及び加藤清正書状など歴史資料を主に購入した。県民の方からは、旧徳山村の記録写真、旧家に残された記録や書籍、民具、また、一昔前の電化製品、能面の製作過程や体験学習に活用できる各種の能面などの寄贈を受けた。

自然関係では、恐竜化石資料タルボサウルス(レプリカ)、プシッタコサウルス(レプリカ)、翼竜化石資料タベジャラ(レプリカ)などを購入した。

また、県内産植物標本およそ5,000点(整理中)を故村延夫氏より寄贈を受けた。その他、哺乳動物や両棲類のオオサンショウウオ等の寄贈を受けた。

4 教育普及活動

「たのしい博物館」等年間71回の講座、観察会等を実施した。「ワナをしかけて虫をつかまよう」など館周辺の環境を生かした催し物の他、「フェアリーランプの夕べ」や「ワクワク草木染め体験」などボランティアによる催し物や現地での体験学習が取り入れられるなど新しい試みがなされた。

平成12年11月5日には、入館者200万人を達成し、その前後の入館者を含めて記念品を贈呈した。

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	主に、人文展示室2の美術工芸及び、民俗資料の展示替えをした。	
資料紹介展 「はくせいほうらんしな い」	4/8～6/11	岐阜県には54種類のほ乳類が生息している。この紹介展には、44種70点を展示した。この展覧会では、剥製になった動物がなぜ命を落としたかを検証し、野生動物とのつきあい方を考えるきっかけづくりを図った。	10,822
特別展 「海を越えた明治」～ヨー ロッパが愛した焼き物の美～	7/20～9/10	明治政府は近代化を図る一方、万国博覧会などをとおして物産の輸出を促した。この特別展では、100年の時間を経て里帰りした焼き物(陶磁器七宝焼)をと おして、近代日本を代表する伝統工芸の美と匠の心を紹介した。	10,154
特別展 「すばらしき東濃自然、 再発見！」～巨大ヒノキ が見てきた生き物たち～	9/23～11/23	東濃は、分布の境界となる植物種も多く、湿原も多いことからミカワバイケ イソウやシラタマホシクサなどの固有種を含み多様な植物分布が見られる。 このような自然豊かな東濃を、生き物の生態や形態が分かる各種標本や資料 をハンズ・オンを含み多様に、親しみやすく紹介した。	15,351
特別企画 「いにしえの美濃と飛騨」 ～(財)岐阜県文化財保護セ ンター設立十年のあゆみ～	H12 H13 12/9～1/14	(財)岐阜県文化財保護センターが、これまで10年間に発掘調査した遺跡を「古 代の人々の交流と地域の独自性」という視点から振り返り、旧石器時代から 近世までの代表的な出土遺物約800点を展示・紹介した。	3,518
特別陳列 「描かれた街道」 ～国芳・広重の中山道～	H13 H13 2/24～3/31	歌川国芳の描いた「日本曾街道六十九次」や歌川広重の「木曾海道六拾九次」「木 曾路名所図会」など、美濃十六宿の宿場や街道を描いた絵画資料等をと おして、江戸時代の美濃国や旅の様子を紹介した。	3,984
マイミュージアムギャラリー	H12 H13 4/5～3/20	漆喰彫刻「家紋の美」(4/5～5/7) 文庫の世界 (5/14～6/18) ～関ヶ原合戦の武将たち～ ～文庫で見る日本の近・現代史～ 小森松溪作品展 (6/25～8/6) 映画の中の岐阜県 (8/13～9/17) ～美並村の生んだ日本画家～ ～映画ポスターコレクション～ いにしえの韓国陶磁器文化の魅力 バンフラワーの楽しみ (11/12～12/17) (9/23～11/5) ～粘土でつくる花の魅力～ 楽しい世界の資料紹介展 テラコッタの魅力 (2/11～3/20) ～アジア編～ (1/4～2/4) ～ぬくもりある土の造形美～	45,227

平成12年度夏季特別展

1 展覧会名称

「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」

2 開催期間

平成12年7月20日（木・祝）～9月10日（日）

3 趣 旨

明治政府は、欧米先進国の科学技術を積極的に導入して近代化を図る一方、万国博覧会などを通して物産の輸出・外貨の獲得を促進した。日本からの輸出品の中でも特に優雅で繊細な工芸品は、欧米先進国の人々から世界最高水準の美術工芸品として高い評価を得るとともに、美的好奇心や感性を大いに刺激して芸術活動に多大な影響を与えた。

本展覧会では、百年の時を経て里帰りした故郷岐阜や同時代の全国各地の焼き物（陶磁器及び七宝焼）を通して、明治時代の日本が欧米の人々を魅了したにもかかわらず、これまでほとんど知られていなかった近代日本を代表する美術工芸品の美と技と心を紹介する機会とした。

4 展示内容

本展覧会は4つのコーナーによって構成し、明治を代表する焼き物の美しさ、職人の技と感性のすばらしさを入館者に感じとっていただけるよう展示した。

(1) 明治の殖産興業

殖産興業をはじめ、万国博覧会や内国勸業博覧会に関する資料を展示した。

- ・明治の文明開化を示す引札
- ・生糸やマッチの商標
- ・イタリア万博における両香堂本舗の柿羊羹の賞状
- ・仏ハノイ博覧会における赤塚源八商店の和傘の賞状
- ・第5回内国勸業博（大阪）の案内図 など

(2) 明治の美濃・瀬戸

美濃や瀬戸で制作されて海外に輸出された数々の名品や、美濃で開発された技法による量産品（いわゆる印版手）を展示した。

- ・染付孔雀図花瓶
銘：日本美濃国 加藤五輔造
多治見市教育委員会蔵
- ・盛絵芙蓉図花瓶
銘：美濃西浦 など



染付草花文獸耳付花瓶

(3) 明治の七宝焼

名古屋や愛知県七宝町・京都などで制作されて海外に輸出された数々の名品を展示した。

- ・磁胎蝙蝠文瓶
銘：大日本愛知県下 磁器七宝発明人
吉田直重精造

東京国立博物館蔵

- ・磁胎花唐草文花瓶
銘：大日本開洋社 工人 竹ノ内
名古屋市博物館蔵 など

(4) 海外に知られた明治の名品

数々の国際的な博覧会で入賞を果たし、欧米先進国に知れ渡った全国各地の名工の作品を展示した。

- ・色絵唐人物図三足香炉
銘：帶山
京都府立総合資料館蔵
京都文化博物館管理
- ・時代絵巻香炉
銘：京都並川
- ・百華文耳付大壺
名古屋市博物館蔵 など

5 関連事業

- ・7/20（木）博物館講座
「明治 新しい時代の到来」
当館学芸員
- ・7/23（日）たのしい博物館
「染付（印版）の湯呑みをつくろう」
陶芸家 小林 一彦氏
- ・7/30（日）特別展講演会
「万国博覧会の華 七宝焼」
名古屋市博物館学芸員 小川 幹生氏
- ・8/6（日）特別展講演会
「世界に進出した美濃焼」
多治見市文化財保護センター
学芸員 小木曾郁夫氏
- ・8/13（日）博物館講座
「美術工芸品に見る日欧文化の交流」
近代日本美術工芸研究会
三輪 芳明氏
- ・8/20（日）特別展講演会
「万国博覧会と日本の工芸」
東京国立博物館陶磁室長
伊藤 嘉章氏
- ・8/27（日）たのしい博物館
「実演会 七宝の制作」
「七宝のペンダントをつくろう」
尾張近代七宝研究会のみなさん
- ・9/2（土）たのしい博物館
「西浦の吹絵技法によるフェアリーランプの夕べ」
近代日本美術工芸研究会
美濃加茂市立加茂野小学校

〔秋季特別展〕

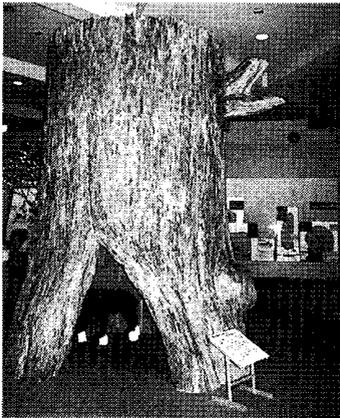
「すばらしき東濃の自然、再発見 ～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」

平成12年9月23日（土・祝）～11月26日（日）

東濃は、暖かい地方に分布の中心をもつ植物と寒い地方に分布の中心をもつ植物との接点にもなっており、植物の種類は実に多様です。またこの地方にはシデコブシをはじめとしてハナノキやヒトツバタゴといった他地域ではほとんど見られないめずらしい植物が残っています。さらには、湿地が多くシラタマホシクサやミカウバイケイソウに代表される伊勢湾を取り囲むように分布する植物も見られます。

このような自然豊かな東濃を、恵那山やその周囲をとりまく湿地で見られる生き物の生態や形態がわかる各種の標本資料を通して紹介しました。

また、つい最近になって恵那山で巨大ヒノキが見つかったことから「みさかおほひ神坂大檜」を体験型レプリカで紹介したり、植物とのふれあいができる各コーナーを設置したりといった体感できる展示を通して、自然とのふれあいのすばらしさを紹介しました。



「みさかおほひ神坂大檜」の体験型レプリカ

展示構成は次の6つになっています。

- ①巨大ヒノキを育んだ自然環境
- ②巨大ヒノキが見てきた注目したい植物
- ③巨大ヒノキが見てきた恵那山の植物
- ④巨大ヒノキが見てきた湿地の植物
- ⑤巨大ヒノキが見てきた多様な生き物
- ⑥巨大ヒノキが見てきた人と植物とのかかわり

それぞれのたまかな展示内容を紹介します。

①巨大ヒノキを育んだ自然環境

恵那山の標高1,300m付近にそびえ立つ神坂大檜。推定樹齢千年、高さ25m、幹回りは7.5mです。そのヒノキの地上3mまでのレプリカが出迎え、腕をのばしてその大きさを体験したり、うろの中にはいったりできるように工夫しました。ここでは、このような巨大ヒノキを育んだ東濃の地質（地形）、気象、植生、植物相などを

ランドサットの画像を数多く使って紹介しました。

②巨大ヒノキが見てきた注目したい植物

伊勢湾を取り囲むように分布する植物たちをはじめ、日本における分布範囲の端になっていたり、現在までに県内では東濃でのみ確認されるなど、分布の上で興味深い特徴的な植物を紹介しました。



1999年に東濃で発見され
東濃と名がついたトウノウネコノメ

③巨大ヒノキが見てきた恵那山の植物

美濃の最高峰、恵那山は2,190mあります。高山帯をのぞく、低地丘陵帯～亜高山帯までがそろっていますので、自生している植物の種類数も多いです。ここでは恵那山をほぼ南限としているオサバグサなどの植物を紹介したり、恵那山を山頂、中腹、ふもとの3つの区域に分けてそこで見られる代表的な植物を紹介しました。まるで恵那山の山頂から植物を見ながら下山しているような気分になるように工夫しました。

④巨大ヒノキが見てきた湿地の植物

東濃地域は湿地が非常に多く、東濃地域全体では、推定で1,000個を超える数になると予想できます。また、湿地の形としては、大きくは2型あることがわかってきました。一つは丘陵地の浸食の及んでいない小谷（水路）です。ここにはシデコブシ、ハナノキなどの湿地に特異的に出現する種が自生しています。もう一つは、わき出した地下水が、基盤の岩石や粘土層の上にある砂礫の地表面（土岐砂礫層）を絶えず流れるようなところ です。ここではシラタマホシクサ、モウセンゴケなどが自生しています。これらの湿地を代表する植物を季節ごとに標本で紹介しました。



湿地のレプリカ（シラタマホシクサ等）

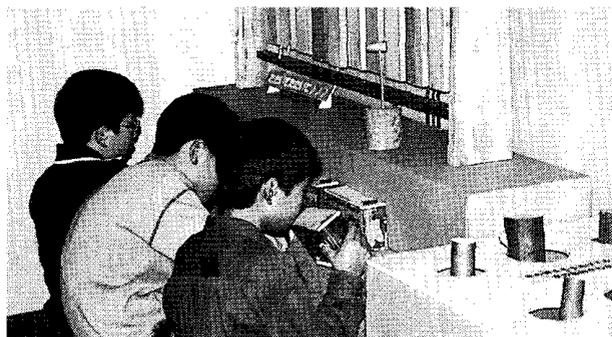
⑤巨大ヒノキが見てきた多様な生き物

植物だけでなくここでは東濃で見られる動物、たとえば、ツキノワグマとかニホンカモシカといった大きな動物から、湿地で見られるハッチョウトンボといった小さな昆虫まで幅広く多様な生き物の姿を紹介しました。

⑥巨大ヒノキが見てきた人と植物とのかかわり

このコーナーは「生活と結びついた山菜と薬草」「植物学者、三好学」「木と共に暮らす」の3つに分かれています。特にこの中の「木と共に暮らす」のコーナーと関連して5つの体験コーナーを設けました。

- ・考えるコーナー・実や種にさわって、どんな植物のものなのかを考えるコーナー
- ・たたく・かぐコーナー・木の板をたたいた音を聞き分けたり、木のにおいをかいだりするコーナー
- ・さわるコーナー・木にさわって、木肌のようにすを感じ取るコーナー
- ・くつろぐコーナー・東濃の草花を美しい映像でのんびりと見るコーナー
- ・あそぶコーナー・東濃のヒノキで作ったいろいろなおもちゃと遊ぶコーナー。



体験コーナーの様子

[関連事業]

8月27日

自然観察会「サワギキョウを見る会」

場所：根ノ上湖周囲（中津川市）

9月3日（日）

自然観察会「モウセンゴケのじゅうたんをのぞこう」

場所：中津川市鉱物博物館の周囲「夜明けの森」

10月1日（日）

特別展講演会

「ヒトツバタゴ（なんじゃもんじゃ）の不思議」

講師：太田敬久さん（椋山女学園大学名誉教授）

10月15日（日）

たのしい博物館「ヒノキのネームプレートづくり」

場所：東濃森林管理署（付知町）

10月22日（日）

たのしい博物館「ワクワク草木染め体験」

場所：サイエンスワールド（瑞浪市）

11月12日（日）

たのしい博物館「あなたもそばうち名人」

場所：アグリパーク恵那 総合管理センター

11月19日（日）

特別展講演会「東濃のミカワバイケイソウを探る」

講師：高橋 弘さん（岐阜大学教授）

平成12年度資料紹介展

1 展示会名称

「はくせいほうんちしない～さるやきつねの巻～」

2 開催期間

平成12年4月8日（土）～6月11日（日）

3 趣 旨

岐阜県には約50種の哺乳類が生息しています。このうち、博物館では希少なコウモリ類とモグラ類、すでに絶滅した種類を除き、すべて標本として所蔵しています。これらの多くは交通事故あるいは狩猟により、不幸にも命を落とした哺乳類から作製されました。

近年、日本においても自然環境への関心が今まで以上に高まっています。その中で、開発による生息地の分断、在来の生物を脅かす帰化生物の増加などのさまざまな問題が浮上し、野生生物とどのように関わるべきなのか真剣に論議されています。

今回の紹介展では、博物館が所蔵する哺乳類の剥製標本を多数展示しました。それと同時に命を落とした哺乳類が博物館に運ばれ、資料となる過程を紹介することで、野生生物とのつきあいかたを考える機会をもうけました。

4 展示構成

- ①うしのなかま、②ねこのなかま、③さるのなかま、④うさぎのなかま、⑤ねずみのなかま、⑥もぐらのなかま、⑦こうもりのなかま

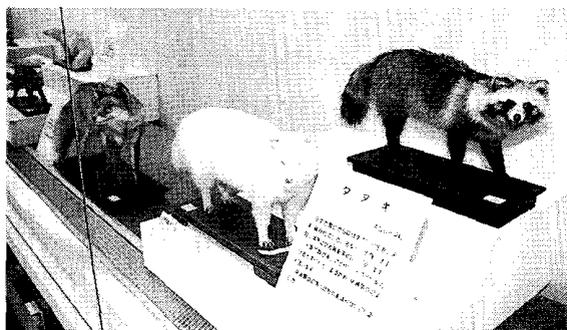


写真1（展示風景－1）



写真2（展示風景－2）

特別陳列

えが 描かれた街道～国芳・広重の中山道～

1 展覧会名称

「特別陳列 描かれた街道～国芳・広重の中山道～」

2 開催期間

平成13年2月24日（土）～3月31日（土）

（期間中一部展示替え：

前期 2/24～3/14、後期 3/15～3/31）

3 趣 旨

現代の日本では経済的な豊かさと余暇の増大を背景に、旅行への関心が高まっている。ある統計によると、平成11年の1年間に何らかの理由で日本から海外へ出かけた人の数は1千6百万人を超えたそうだ。

実は江戸時代にも、特に文化・文政期（1804～30年）以降、今日と同じように旅行がにわかにブームとなっていた。もともとは信仰にはじまった民衆の旅だったが、天下泰平の世にあって、交通システムが整備され、浮世絵や道中記、名所記など人々を旅へと誘う出版物が盛んに刊行されるようになると、民衆は日常性からの脱却を求め、思い思いに旅立った。

日本の真ん中に位置した岐阜県は、古代より交通の要地である。江戸時代には、中山道が東西を貫き、人々の往来や文化の交流、情報と物流に重要な役割を果たした。中山道は旅ブームを演出したひとつの舞台だったといえよう。

本展覧会では、歌川国芳の描いた「木曾街道六十九次」をはじめとする絵画資料等を通して、美濃十六宿を中心に宿場や街道の様子を紹介した。これらの資料から、江戸時代の美濃国、そして江戸時代の旅に思いをはせていただきたいと考えた。

4 展示内容

① 国芳の中山道

歌川国芳の浮世絵「木曾街道六十九次」を常時15枚展示した。資料保存の観点等から、展示期間を前期と後期に分け、期間の途中で展示替えを行った。前期には上松宿～鶴沼宿の15枚を、後期には加納宿～守山宿の15枚を展示した。

② 描かれた美濃十六宿

歌川広重・溪斎英泉の「木曾海道六拾九次」を中心に、「木曾路名所図会」、「岐蘇路記」、「岐蘇路安見絵図」、「美濃国から大坂までの名所図巻」等を展示し、江戸時代の美濃十六宿の様子を絵画資料で紹介した。

③ 「公」の旅・「私」の旅

江戸時代の旅を「公」と「私」に大きく分け、「公」の旅として、和宮降嫁、大名行列、宿駅伝馬制度等に関連する資料を、「私」の旅として、物見遊山、湯治、巡礼等に関連する資料を展示した。

具体的には、「御嶽宿伝馬朱印状（県重文）」、和宮の行列風景を描いた「中山道御下向御休泊御本陣附」、「紀伊殿大名行列図」、大名休泊の際に御嶽宿本陣に掛けられた「関札」、湯治の様子を描いた温泉寺に残る「天保七年奉納絵馬」、華嚴寺の縁起を記した「西国三十三番札所谷汲山錦絵」、その他、旅の必需品の「旅道具」等であった。

④ その他

- ・特別展示室と新館4Fマルチメディアスタジオをスタンプラリーで結び、マルチメディアスタジオに設置されたハイパーハイビジョン風上記「ひだ・みの紀行」で、中山道を調べてもらう工夫をした。
- ・県内中学生を対象とした中山道に関するアンケートを実施し、その結果を発表した。
- ・恵那市立大井小学校と垂井町立東小学校の児童たちの街道に係わる活動をまとめたパネルコーナーを設置した。
- ・山駕籠（複製）に乗って写真撮影ができるコーナーを設置した。



▲歌川国芳「木曾街道六十九次之内 中津川」

<展示資料数>

74件（展示資料総数92点）

<関連事業>

- ・3月18日（日） 博物館講座「中山道と宿場町」
当館学芸員

[マイミュージアムギャラリー]

(1) 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって承認された展示計画に従い、順次展示をしていただく。出展者の募集は常時行っている。

(2) 平成12年度の展示状況

回	展示期間	出展内容	出展者
1	平成12年 4月5日(水) ～ 5月7日(日)	漆喰彫刻 「家紋の美」 ～関ヶ原合戦の 武将たち～	石田 正雪
2	5月14日(日) ～ 6月18日(日)	文庫の世界 ～文庫で見る日本 の近・現代史～	中島 泉
3	6月25日(日) ～ 8月6日(日)	小森松溪展 ～美並村の生んだ 日本画家～	美並村文化 協会・文化 財保護協会
4	8月13日(日) ～ 9月17日(日)	映画の中の岐阜県 ～映画ポスター コレクション～	金田 行雄
5	9月26日(日) ～ 11月3日(祝)	いにしへの 韓国陶磁器文化の 魅力	藤田 暁護
6	11月12日(日) ～ 12月17日(日)	パンフラーの 楽しみ ～粘土でつくる 花の魅力～	薔薇工房 木村喜美恵
7	平成13年 1月4日(木) ～ 2月4日(日)	楽しい世界の 資料紹介展 ～アジア編～	海外日本人 学校派遣岐 阜県教師の 会
8	2月11日(祝) ～ 3月20日(祝)	テラコッタの魅力 ～ぬくもりある 土の造形美～	加知 厚 児山由美子

(3) 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示リーフレット「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。平成12年度は7年度からの通番で、第39号から第46号まで発行した。

(4) 出展者による解説・講演・実演等の開催



来館者に対して、出展者による展示解説、映画会、教室、実演を以下のように開催した。

○第1回「漆喰彫刻『家紋の美』

・展示解説 石田 正雪さん

○第2回「文庫の世界」

・展示解説 中島 泉さん

○第4回「映画の中の岐阜県」

・岐阜県にゆかりのある映画上映会

①上映映画 「ふるさと」 神山征二郎監督作品

日時 平成12年8月15日(火) 午後1時30分～3時30分

②上映映画 「さくら」 神山征二郎監督作品

日時 平成12年8月16日(水) 午後1時30分～3時30分

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール
ギャラリーの展示に合わせ、岐阜県にゆかりのある映画

の上映を行った。夏休みということもあり、家族連れが多く盛会であった。

○第5回「いにしへの韓国陶磁器文化の魅力」

・展示解説 藤田暁護さん、小澤善一さん

○第6回「パンフラーの楽しみ」

・パンフラー教室

第1回 平成12年11月19日(日)

第2回 平成12年11月21日(火)

第3回 平成12年11月26日(日)

時間 午前10時00分～午後3時00分

場所 岐阜県博物館本館講堂

講師 木村喜美恵さんと薔薇工房の皆さん

ギャラリーに展示されているパンフラーの製作体験教室を行った。短時間でできる花とクリスマスツリーをかたどった壁掛けを題材として行い、多数の参加者があった。幼児からお年寄り、障害者の方まで述べ156名の幅広い参加があった。



○第7回「楽しい世界の資料紹介展」

・講演 「アジアの民族舞踊・民族楽器演奏会」

日時 平成13年1月28日(火) 午後1時30分～

場所 マイミュージアムギャラリー及び

マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

出演 ベトナム、ミャンマー、インドネシアへ赴任され、

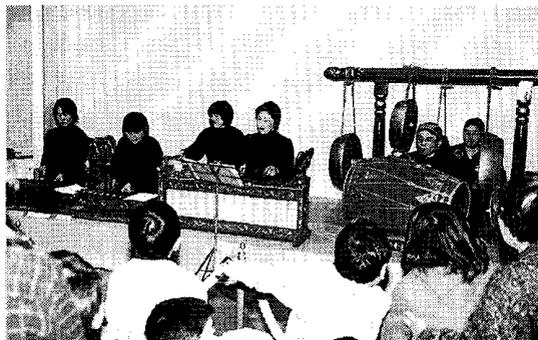
帰国された3組の先生とご家族、友人

内容 (1)ベトナムの多様な弦楽器の紹介と演奏

②ビルマの豎琴の演奏

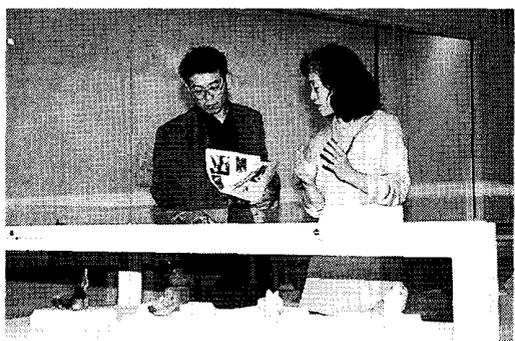
③インドネシアの民族舞踊とガムランの演奏

ギャラリーに展示中の先生とご家族の方々による、現地から日本へ持ち帰られた本物の珍しい楽器による生の演奏会と民族舞踊の披露を行った。ガムランの演奏はギャラリー会場からハイビジョンホールへハイビジョン映像による中継をした。多彩な内容と珍しい演奏会ということで、120名を超える多数の参加者があった。



○第8回「テラコッタの魅力」

・展示解説 児山由美子さん



各展示において、出展者自らが積極的に会場内で展示解説を行った。出展者は来館されるたびに展示内容の見所などの解説をし、来館者との交流も深まった。

来館者からも、隠れた話が聞けて大変有意義だったという感想を聞けた。各出展者も、来館者の質問や意見などを聞いて大変勉強になったり、視野も広まったり、同好者も増えたりと好評だった。

(5) 博物館同人としての登録

出展者は博物館同人とし、6名と3団体に同人証を発行した。

(6) 平成12年度の出展申し込み

刀剣コレクション、海外日本人学校婦国教師の会の海外コレクション、野球グッズコレクション、切手・コインコレクション、リサイクルペイント・クラフトの作品、パイプオルガン作品、芝居絵作品、地歌舞伎写真作品、など、県内各地から計9件の申し込みがあった。生涯学習の作品の申し込みが増えている。

(7) マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

○期日 11月22日 ○場所 本館会議室

○議題

①これまでの展示の経過と課題について

- ・従来多かった個人コレクションに加えて、生涯学習の作品や団体からの出展が多くなってきた。「漆喰彫刻『家紋の美』」は関ヶ原合戦に参戦した戦国武将の家紋が展示され、今年が関ヶ原合戦400年にあたることから話題性に富んでいた。また、出展者は開催の全日米館され、米場者との交流に熱心だった。「小森松溪作品展」は、美並村教育委員会が主体となった初めての自治体が開催する展覧会であった。村民60余名が各家にある同村出身の日本画家の作品を展示したもので、マイミュージアムギャラリーならではの展示であったと言える。「パンフラワーの楽しみ」は岐阜市、関市の40名の女性の手作り作品展で、大変華やかな展示となった。
- ・展示準備、撤収はスムーズに対応できている。展示内容や方法等でよりよい展示を目指すことが肝要である。
- ・効果的な案内や広報がなされ、新聞報道だけでなく、何度となくテレビ、ラジオで取り上げられた。

②平成13年度展示計画及び今後の課題について

- ・出展者にはそれぞれ個性がある。それを一定の枠（出展数など）で制限するのも問題があると思われるが、それを見極めていくのがこの委員会の役目である。
- ・高齢者、団体、障害者等の出展が今後当然考えられる。その時希望者の意向にどう対応するかが課題である。

○委員の構成

	氏名	役職
委員	浅野 勇	岐阜県市長会長
〃	糸魚川淳二	名古屋大学名誉教授
〃	岩田 仲雄	会社社長
〃	加藤 郁子	岐阜県地域婦人会連合会会長
〃	熊澤 昌之	岐阜県町村会長
〃	渡辺 文雄	岐阜県公民館連合会長
〃	高田 晃	前岐阜県博物館長
〃	辻 欣一	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	藤塚 守	岐阜県議会教育警察委員長
〃	船戸 政一	関市教育長
〃	松本 五三	岐阜県博物館協会理事長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長

会長は吉田豊氏、副会長は松本五三氏が継続就任。

〔特別企画〕

いにしへの美濃と飛騨

（財）岐阜県文化財保護センター設立10年のあゆみ

平成12年12月9日（土）～1月14日（日）

設立10年目を迎えた（財）岐阜県文化財保護センターは、これまでに県内各地において100件を超える埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、原始・古代における岐阜県の姿を解明するうえで貴重な資料を数多く提供してきた。また、現地説明会や発掘体験のほか、発掘速報展を毎年開催してその調査成果を公開しており、一般への普及啓発にも大きな役割を果たしている。

折しも文化財保護法施行50年にあたり、同センターは文化庁の後援を得て記念の特別企画を開催し、これまでの調査成果を「古代の人々の交流と地域の独自性」という視点から振り返り、旧石器時代から近世までの代表的な出土遺物約800点を展示紹介した。

当館は例年の速報展と同様、岐阜県教育委員会とともに共催という立場でおもに教育普及面で協力を行った。



展示会場の様子

〈展示構成〉

美濃・飛騨約70遺跡の出土遺物を、土器・陶器類を中心に時代順に概観できるよう壁面ケースに展示した。縄文時代では、飛騨と美濃の土器を上下二段構成で比較展示した。古墳時代では集落遺跡とは別に、古墳からの出土遺物を地域や時期ごとに立ちケースに展示した。

中央のスペースには、南高野古墳の石室内の遺物出土状況を実寸大で再現したほか、美濃の窯業生産が概観できるよう美濃須衛・東濃の古窯跡群の出土遺物を展示した。また、縄文時代の石器の材料や土器の施文に関連して、ガラス質の石材と縄文土器片を触察展示した。

〈おもな展示遺物〉

(1) 旧石器時代

○寺屋敷遺跡（藤橋村）出土の石器

(2) 縄文時代

○岩垣内遺跡（丹生川村）出土の縄文土器

○西田遺跡（丹生川村）出土の装飾品

○上原遺跡（^{あびはら}藤橋村）出土の縄文土器

(3) 弥生時代

○荒尾南遺跡（大垣市）出土の線刻絵画土器

○今宿遺跡（大垣市）出土の人面土器

○砂行遺跡（関市）出土の弥生土器

(4) 古墳時代

○顔戸南遺跡（^{こうのみんみ}御嵩町）出土の網代・木製品

○砂行1号古墳（関市）出土の鏡

○後平茶臼古墳（^{あひらちやうす}富加町）出土の尾張型埴輪

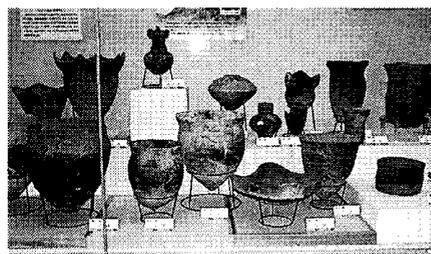
(5) 古代・中世・近世

○寿楽寺廃寺跡（古川町）出土の墨書土器

○柿田遺跡（^{かきだ}可児市）出土の美濃刻印須恵器

○堀田城之内遺跡（岐阜市）出土の中近世陶器

○高山陣屋跡（高山市）出土の近世陶器



縄文土器群



土偶と石製品

〈展示資料数〉

約800点

〈関連事業〉

記念講演会 12月10日（日）

「縄文時代の山と海の暮らし」

奈良大学教授

泉 拓良氏

記念講演会 1月14日（日）

「センター設立10年に寄せて」

三重大学名誉教授

八賀 晋氏



後平茶臼古墳出土遺物

[調査研究・資料収集活動]

—自然部門—

1 調査研究

<動物分野>

(1) 柳原要二鳥類コレクションに関わる調査

岐阜市在住の柳原亮一氏より寄贈を受けた鳥類標本1521点を我孫子市鳥の博物館の協力を得て整理した。これらの標本は寄贈者の父要二氏が明治後期から昭和初期にかけて収集したもので、大きく5つに分かれる。

・折居彪二郎が黒田長禮、山階芳麿の依頼で中国東北部、台湾、サハリン、沖縄などで採集したもの。

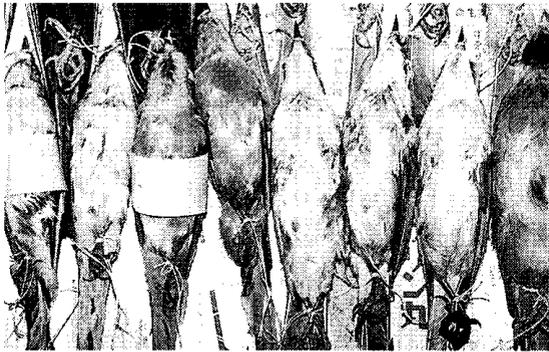


写真1：折居彪二郎が採集した台湾産鳥類標本

- ・村山徳太郎が八丈島で採集したもの。
- ・長興鼎が小笠原、長野などで採集したもの。
- ・岐阜市細畑で採集したもの。
- ・熊田丈吉より購入したもの。

コレクションのリスト及び重要な標本の考察は別の機会に公表する。

(2) 特別展「あこのろいた鳥」に関わる調査

特別展示の準備として、下記の地域で写真資料を収集した。

- ・東京都上野：オナガガモ、ハシビロガモ
- ・千葉県我孫子市：オオバン
- ・東京都小笠原村母島：ハハジマメグロ
- ・東京都三宅島：アカコッコ、オーストンヤマガラ
- ・石川県舳倉島：エゾムシクイ、チュウサギ、キビタキ
- ・北海道苫小牧市：オオジュリン
- ・北海道天売島：ウミガラス、ケイマフリ、ウトウ
- ・鹿児島県トカラ列島中之島：アカヒゲ
- ・鹿児島県奄美大島：ルリカケス、キビタキ
- ・沖縄県南大東島：ダイトウメジロ
- ・愛知県汐川：イソシギ
- ・新潟県佐渡島：トキ
- ・山形県飛鳥：マガン、ハヤブサ、キアシシギ
- ・石川県舳倉島：オオマシコ、チフチャフ
- ・滋賀県湖北町：オオヒシクイ、コハクチョウ
- ・沖縄県西表島：カンムリワシ、ズグロミゾゴイ
- ・沖縄県石垣島：キンバト、サシバ

- ・鹿児島県奄美大島：ルリカケス、アカヒゲ
- ・鹿児島県出水：マナヅル、ナベヅル
- ・鹿児島県万之瀬川：クロツラヘラサギ
- ・三重県津市：ミミカイツブリ
- ・愛知県名古屋市：オナガガモ、ユリカモメ
- ・福岡県今津：クロツラヘラサギ
- ・福岡県曾根：ツクシガモ、ヘラサギ、ズグロカモメ
- ・福岡県和白：ズグロカモメ、ハマシギ
- ・東京都上野：オナガガモ、カイツブリ
- ・千葉県谷津：セイタカシギ
- ・宮城県蒲生：アオサギ
- ・宮城県網走島：シノリガモ、ハギマシコ
- ・宮城県伊豆沼：マガン
- ・沖縄県与那国島：ヤツガシラ
- ・兵庫県豊岡市：コウノトリ

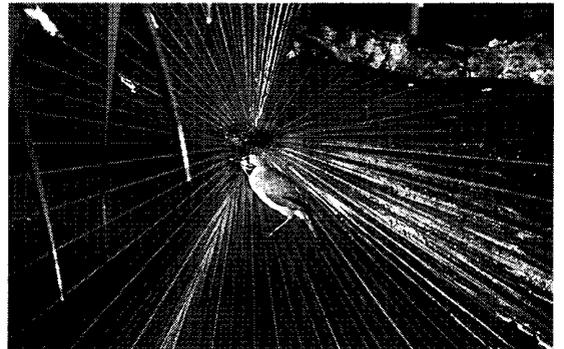


写真2：ハハジマメグロ（小笠原母島）

(3) チョウ類のルートセンサス

昨年度に引き続き、関市小屋名百年公園内で、中島和典氏（博物館サポーター）とチョウ類のルートセンサスを行った。

<植物分野>

(1) 東濃地方の植物分布調査及び資料収集

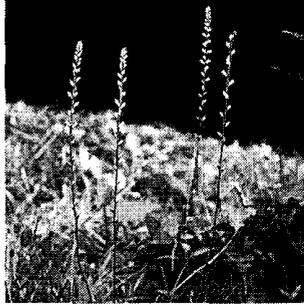
恵那市を中心にて東濃地方の植物相の調査を行った。特に本年度は特別展の開催年であることから、東濃の里山・棚田などを部分的に調査した。

特別展示の資料として、できるだけ標本を採集したが、個体数が極端に少ない種に限っては、採集しないでスライド等の二次資料にとどめた。



イヌノフグリ（ゴマノハグサ科）*Veronica polita* var. *lilacina*

ノカンゾウ (ユリ科) *Hemerocallis fulva* var. *longituba*
 アイナエ (マチン科) *Mitrasacme pygmaea*
 クロホシクサ (ホシクサ科) *Eriocaulon parvum*



ソクシンラン
 (ユリ科)
Aletris spicata



スズサイコ
 (ガガイモ科)
Cynanchum paniculatum

(2) ジオラマ作製のための調査

恵那山やその周囲の植物様子を特別展示で再現するために、東濃の自然の特徴を代表するシデコブシ、ヒトツバタゴ、また恵那山中腹の巨大ヒノキ (神坂大檜) の形態等を調べた。



シデコブシ (モクレン科) *Magnolia tomentosa*



恵那山の標高1300m付近にそびえ立つ神坂大檜おあび

<地学分野>

(1) 岐阜県恐竜化石学術調査団 (大白川地域)

① 調査の経緯

岐阜県恐竜化石学術調査団では、平成10年度より手取層群の堆積環境を明らかにすることを主目的とした調査を進めてきた。これらの成果は岐阜県博物館調査研究報告に継続的に発表してきた。

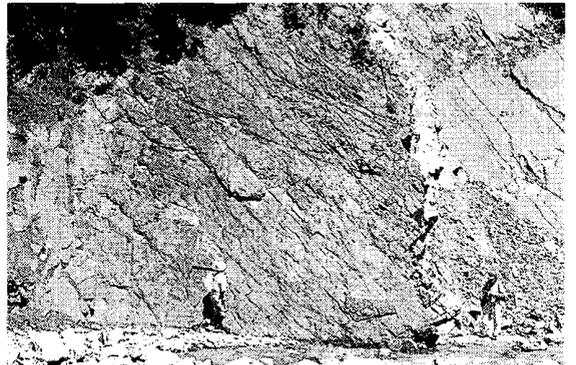
本年度は大野郡白川村大白川上流地域に分布する手取層群の調査を行った。この地域は恐竜の足印化石やカメ、魚類などの脊椎動物化石、数多くの軟体動物化石を産出しており、新たな恐竜化石発見の可能性が高い重要な地域であり、古環境の解明が望まれる地域でもある。

② 平成12年度の現地調査

平成12年度の現地調査は、7月20日～7月23日、8月3日～8月6日の2回、実日数で8日間に行われ、延べ84人で行った。8月4日および8月5日には信州大学理学部村越直美助手に現地における堆積相解析の指導を受けた。

現地調査では1/100スケールの柱状図の作成と化石調査を中心に行った。

野外調査結果についての検討会を11月13日にもち、全員で検討した後、まとめの作業を進めた。また、12月～1月にかけて、調査研究指導者の指導のもとで調査研究報告の作成を行い、岐阜県博物館調査研究報告第22号に発表した。



現地調査の様子

③ 室内作業

現地調査とは別に、室内作業として過去の収集資料も含めた採集化石の整理及びクリーニングを岐阜県博物館において行った。室内作業は8月に4日間、延べ35人で行った。これらの手取層群産の化石は岐阜県博物館第4収蔵庫に保管されている。これらの収蔵資料は過去11年間にわたる莫大な量であり、まだクリーニングや整理ができていない標本が多く残っている。今後、こうした資料をクリーニングし、整理して保存することが課題である。

(2) 『温泉展』の調査研究

平成14年度開催予定の特別展『温泉展』に関する調査研究を行った。

①温泉がつくる自然環境調査

・岐阜県上宝村一重ヶ根石灰華調査

山腹の一部に温泉水起源の炭酸カルシウムの沈殿物が厚く堆積して大規模な石灰華を形成している。本館は当所の石灰華を資料として多数収蔵しており、今回の調査で本館の収蔵する石灰華の産状等を確認し、特異な温泉地形の記録を行うことができた。

・石川県尾口村岩間温泉噴泉塔群調査

白山自然保護センター東野外志男氏の案内で、岩間温泉噴泉塔群の現地調査を行った。岩間温泉噴泉塔群は温泉水中の炭酸カルシウムが湧出口のまわりに付着するうちに塔状の石灰華を形成する大変めずらしいもので、その現状を記録すると共に、展示用の写真として撮影することができた。



岩間温泉噴泉塔群の調査の様子

・白川村大白川“温泉地獄”地形調査

県内で唯一の地熱地帯における“地獄地形”およびそこに産する硫黄華、珪華等の温泉沈殿物の調査を行った。特に高温ガスの噴気孔の様子を記録するとともに、数種類の温泉沈殿物の採集を行った。また硫黄臭の強い温泉水に群がり生息しているハエを採集し鑑定を依頼したところ、*Hecamedoides litoralis* という種であることが判明した。

②温泉沈殿物の資料調査

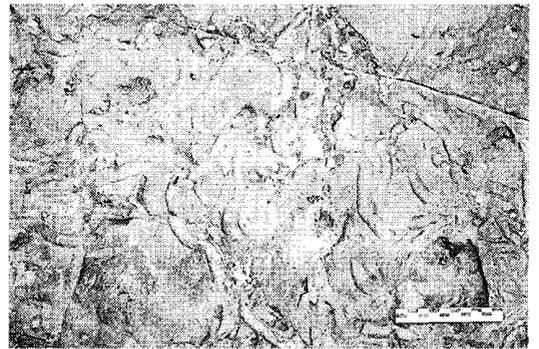
温泉水中で生成される沈殿物や鉱物は、一度採集されると再び生成するまでに長時間を要したり、二度と生成されなかつたりすることが多い。したがって、一度採集されたものは数少ない貴重な資料として博物館等に保管されている。全国の博物館等に収集されている貴重な温泉沈殿物や鉱物について調べ、データベース化も検討している。

(3) 手取層群から産出した生痕化石の調査と型取り

荘川村に分布する手取層群の御手洗累層で、1999年9月の豪雨の林道崩壊により露出した地層面から、海底生物が這い回った跡（生痕化石）が見つかった。この地層は手取層群でも古い時代（約1億6,000万年前）の海底堆積物であり、アンモナイト・ベレムナイトほかの海生生物の化石が産出することで知られている。

生痕化石は海底の土中に住んでいたミミズに似た無せきつい動物のものと思われ、直径1-2cm、長さ10-20cmほどの管状の這い跡が、幅約1.5m×長さ約4.5mにわたって地層面上に無数に広がっている。この生痕化石は保存状態がきわめて良く、埋まっている部分を含めると世界的な大規模なものであり、海底生物の生態を知る上で貴重な資料となるものである。

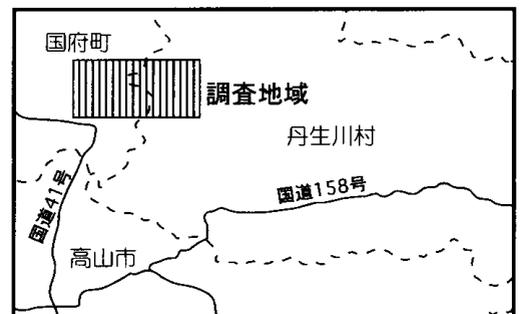
博物館では、荘川村教育委員会と連絡をとった上で、2000年8月、シリコンによる型取り作業を行った。型取りは最も保存状態の良い部分で行い、その面積は約1.2m×1.7mとなった。なお、このすばらしい露頭は崖崩れと道路の改修作業で、間もなく全部を埋められ道路敷となった。



海底生物の這い跡の化石（荘川村御手洗）

(4) 高山市北方の荒城川層の調査

高山市北方の国府町から丹生川村にかけて、飛騨外縁帯の構成岩類が分布している。この地域における砕屑岩の起源に関する詳細な研究例は少なく、不明瞭な点が残されている。そこで、国府町～丹生川村にかけての荒城川流域に分布する荒城川層最上部の調査を行った。荒城川層最上部は、酸性凝灰岩・酸性火砕岩・砂岩からなり、砂岩には礫岩が挟まれる。砂岩および礫岩を採集し、現在、後背地の解析を進めている。



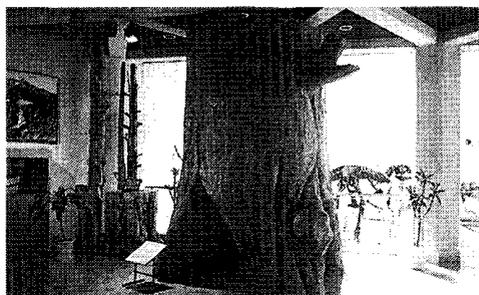
2 資料数一覧

(平成13年3月31日現在)

分野	館			蔵		借用	寄託	館蔵 借用 寄託 合計
	実物	複製	自作等 その他	館蔵数合計	() 寄贈内数			
動物	33,219	16	129	33,364	(18,803)	0	0	33,364
植物	24,094	73	190	24,357	(9,494)	0	0	24,357
岩石鉱物	2,087	5	73	2,165	(544)	18	0	2,183
化石	1,986	47	24	2,057	(1,079)	48	28	2,133
その他	63	22	168	253	(21)	0	0	253
計	61,449	163	584	62,196	(29,941)	66	28	62,290



タルボサウルス頭骨標本（複製）



巨大ヒノキ体験型複製

3 資料寄贈者芳名一覧（敬称略・順不同）

資料名	点数	芳名	資料名	点数	芳名
メジロ	1	武井 拓運	オオタカ	1	中田 宇元
シロハラ	1	千藤 克彦	フクロウ	1	小林すみえ
韓国産ツル	2	澤田 平一	ツミ	1	藤原麒一郎
ほ乳類頭骨	1	鷺見 峯男	メボソムシクイ	1	〃
コジュケイ	1	松井 英介	カワセミ	1	〃
ヤマドリ	1	〃	東濃のシダ植物標本	100	粟田 郁男
カワウ	1	根尾川 筋漁	伊自良産植物標本	30	金古 弘之
ノスリ	1	成瀬 亮司	各務原産植物標本	300	鳥居 進
キセキレイ	1	今井 千晴	県内産シダ植物標本	15	村瀬 正成
オオサンショウウオ	1	長屋泰郎・大野哲也	三村延夫氏採集植物標本	800	三村 とも
郡上・西濃産カブ類標本	65	安藤 尚武	洞戸村産植物標本	50	野村 佳代
ヒメギフチョウなど	17	日比 利彦	湿地等の植物標本	10	福岡 義洋
オオミズナギドリ	1	桑原 久男	フズリナ化石プレパラート他	多数	鶴飼 修司
ツルクイナ	1	直井 清正	地質学雑誌、専門書他	多数	坂本 亨

4 購入資料一覧

資料名	点数	購入先	資料名	点数	購入先
鳥類剥製標本	54	嶽本まりこ	プシッタコサウルス	2	Stoneage
動物剥製標本	16	東京内田科学	翼竜タペジャラ	1	〃
巨大ヒノキ複製	1	岩崎総合研究所	タルボサウルス頭骨	1	〃
シデコブシ複製	1	〃	カンプトサウルス頭骨	1	〃
ヒトツバタゴ複製	1	〃	恐竜卵化石	1	Peter Pittoman
			鳥類化石	1	〃

— 人 文 部 門 —

1 調査研究

<考古分野>

○平成13年度日本まんなか共和国博物館交流特別企画「信長、安土より来る ～安土城考古博物館所蔵品紹介展～」に係わる調査研究

滋賀県立安土城考古博物館の指導・協力を受けながら同館所蔵品の調査を実施し、中心テーマとして岐阜、滋賀両県の歴史や交流に大きな係わりを持つ織田信長の統一事業を取り上げ、展示資料を選定した。

○岐阜県の文化—美濃飛騨の比較研究—

(財)岐阜県文化財保護センター等によって発掘調査された県内の遺跡や出土遺物について調査を実施した。今後、常設展示の充実等にその成果を生かしていく予定である。

<歴史分野>

○平成12年度夏季特別展「海を越えた明治 ～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」に係わる調査・研究

博覧会の世紀といわれた明治期において、海外の博覧会がどのようにして開催されていたのか、日本はそれに対してどのように参加をしていたのか、ということをも明治16年のオランダ・アムステルダム開催の植民地物産一般輸出品博覧会を例に、『官報』の「彙報」・「在外公館報告」・「外報」等から具体的な姿を明らかにするとともに、当時の焼き物（陶磁器及び七宝焼）産地がどのような状況にあったのかということも『官報』から探り、その成果の一部を『岐阜県博物館調査研究報告 第22号』に発表した。

○岐阜県の文化に係わる調査・研究

高速道路（東海北陸環状線）の敷設にもなって取り壊しの決まった関市下石知（しもうち）の後藤玄吉家より、資料寄贈の申込みを受け、展示用資料及び研究用資料を多数（主として近世後期～明治期）収受した。

現在は、これらの資料の整理を進めているところである。

歴史分野として注目しているのは、幕末から明治期にかけての民間信仰関係資料（特に寺社のお札）である。一般的には左義長等で焼却されてしまうものが多数残されていたことから、当時の人々に関心もたれていた信仰の種類と武儀郡下石知村（当時）の地主（近代における所有水田は20町余）を核とした信仰圏といったものの一端を明らかにできるものと考えている。

<民俗分野>

○平成12年度特別陳列「^{なつか}描かれた街道～国芳・広重の中山道～」に係わる調査研究

(1)国芳の中山道

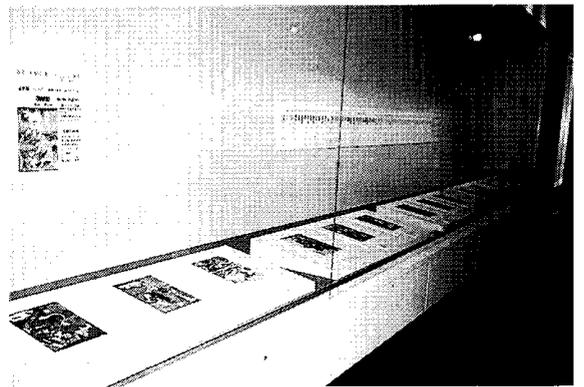
(2)描かれた美濃十六宿

③「^{なつか}公」の旅・「^{わたくし}私」の旅

についての文献資料調査及び、岐阜県、愛知県、滋賀県にある関係博物館、資料館等を訪ね、現地調査を実施し、特別陳列として展示した。また、研究の成果の一部を博物館講座「中山道と宿場町」や『岐阜県博物館調査研究報告書第22号』で発表した。

○増山たづ子氏撮影の旧徳山村記録写真の調査

ふるさと旧徳山村を撮り続けている増山たづ子氏から、貴重な記録写真等約400点の寄贈を受けることになったため、MM係と連携を図りながら、資料調査を実施した。寄贈された写真の一部を、10月1日～15日の2週間、「増山たづ子写真展」として公開した。



▲特別陳列「描かれた街道」展示風景

<美術工芸分野>

○平成13年度特別展「七代目国貞と国貞、国芳」開催に関わる調査研究

- ・七代目国貞の江戸での活躍
- ・七代目国貞の美濃および江戸以外での活動
- ・七代目国貞に関わる浮世絵
- ・歌川国貞の「木曾街道六十九駅」
- ・歌川国芳の「木曾街道六十九次」
- ・美濃の地芝居の状況

について文献資料調査や県内及び東京、静岡、長野方面に現存する関連資料の調査を行った。

○岐阜県の文化に係わる調査研究

美濃飛騨に縁のある近世近代書画および陶磁器など個人所蔵品を多数調査した。このうちひとつのコレクションは、書画約600点、陶磁器約200点からなるものであり、美濃の文人画を代表する村瀬秋水や村瀬太乙、江馬細香をはじめ喜田華堂や田中大秀の作品を含んでおり、それらは近世における郷土文化のレベルの高さを偲ぶにふさわしい作品であった。今後、これらの作品を公開していただけるように検討を依頼した。

2 資料数一覧表

分野	実物	複製	自作・他	館蔵計（内寄贈数）	借用	寄託	総計
考古	2,046	164	52	2,262 (1,850)	497	187	2,946
歴史	1,409	34	122	1,565 (1,354)	20	163	1,748
民俗	2,619	1	0	2,620 (2,616)	247	114	2,981
美術工芸	599	17	0	616 (192)	263	2,025	2,904
計	6,673	216	174	7,063 (6,012)	1,027	2,489	10,579

3 資料寄贈者芳名一覧

資料名	点数	芳名
縄文石器	45	後藤玄吉
勾玉	1	後藤玄吉
昭和時代の生活用具	17	磯部圭作
印刷機	2	川瀬善忠
幻灯機	1	北方小学校
「防衛食」容器	1	宮崎惇
薩摩首人形「竜」	1	宮崎惇
大工道具	46	五十嵐昭元
鉄瓶	1	大藪小学校
石板	1	大藪小学校
受話器	1	大藪小学校
高等小学書き方見本	1	大藪小学校
尋常小学書き方見本（復刻版）	1	大藪小学校
旧徳山村記録写真他	396	増山たづ子
昭和時代の生活用其他	101	浅野直美
能面	23	和田博義
能面製作過程	1	和田博義

4 館蔵資料購入作品一覧

資料名	点数	作者名
経文坊文書	2	
徳川秀忠御内書	1	
加藤清正書状	1	
官許飛騨国中全図	1	
太平記英勇傳 森蘭丸	1	歌川国芳
熊坂長範	1	歌川貞房
東海道名所図会	15	芳虎・芳年
太平記英勇傳	19	歌川芳虎
大角力稽古図	1	歌川国明
歌川広重死絵	1	三代歌川豊国
市川團十郎代々	9	初代・二代豊国
紫花色吉原	1	三代歌川豊国
難有御江戸景清	3	三代歌川豊国
涼三宛消息	1	各務支考
養老偕楽社図	1	蓑虫山人

[マルチメディア情報センター]

<ハイビジョンホール及びスタジオの活用>

ハイビジョンホールでは、博物館制作のマルチメディアソフト「ハイパーハイビジョン風土記」の紹介やハイビジョン映像の定期上映・博物館講座会場としての利用のほか、外部団体の見学や講習会・イベントなども積極的に受け入れ、そのサポートをしながら多様な活用を図った。

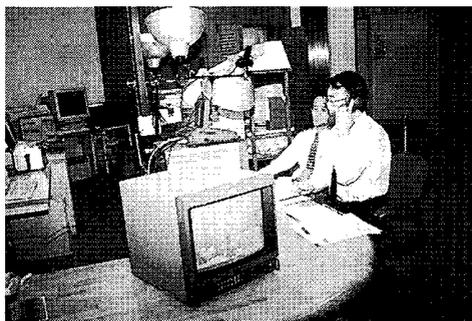
- ・風土記・環境映像・映画・衛星放送・手作り番組等のハイビジョン上映
- ・博物館講座・たのしい博物館
- ・特別展「すばらしき東濃の自然、再発見」開場式
- ・幼稚園・小学校の課外研修
- ・マイミュージアムギャラリー関連の映画会、音楽会
- ・その他 各種研修会、講演会

ハイビジョン映像の上映では、夏休み・春休みの期間中、借用ソフト「銀河の魚」「ニューヨーク空中散歩」「クメールの華」「根尾谷淡墨桜」「白川郷に残る日本人の心」「白神山地ブナ原生林」「生き物地球紀行」等を上映し、親子を中心とした来館者に楽しんでいただいた。

また、特別展「すばらしき東濃の自然、再発見」の間中はDVDソフト「恵那山の植物」を上映し、来館者に鑑賞していただいた。

マルチメディアスタジオでは、20台のレファレンス装置を運用し、常時風土記映像の閲覧ができるよう整備を続けると共に、「県民情報ネットワーク端末」含め2台のインターネット端末を常時運用し、CD-ROM情報と共に来館者に利用していただいた。

<テレビ会議>



昨年度の穂積町牛牧小学校に続き、坂内村坂内小学校がすすめている交流学習の呼びかけに当館が応え、テレビ会議システムによる交流授業を行った。

当日は5年生社会科の伝統的な技術を生かした工業の学習の一環で、美濃焼及び東濃の陶磁器産業について、坂内小学校の3人の児童と当館の学芸員との間でテレビ電話を通して質疑応答を行った。当初は1回のみ開催の予定だったが、活発な交流が行われたことから2回目実施の要請もあり、大変内容の濃い授業となった。

第1回 9月28日(木) 11:35~12:20(第4校時)
第2回 10月6日(金) 11:35~12:20(第4校時)

テレビ会議システムの利用などの遠隔サービスは、今後増加してくることが予想されるので、ソフト、ハードを整えながらこうした対応を今後も継続する必要がある。

<デジタルアーカイブ>

県商工労働部産業情報課所管の地域情報文化育成事業の採択を受けて、当館の所蔵資料のデジタル化を行った。この事業は、後世に継承する必要のある地域固有の文化遺産、伝統芸能等をデジタル化して保存するデジタルアーカイブを推進することにより地域文化を振興し、地域の情報文化産業の育成を図るもので、背景には、総務省が推進しているデジタル・ミュージアム構想がある。これは、平成3年度から推進されてきた「ハイビジョン・ミュージアム構想」を継承・発展させ、12年度から新たにデジタル・ミュージアム・システムの整備およびデジタルコンテンツ支援、地域文化デジタル化事業などに取り組むようになったものである。

以下が、今年度デジタル化したものの概要である。

分野	資料数	カット数	備考
考古	5	44	立体画像
歴史	26	56	静止画像
民俗	1	10	立体画像
美術工芸	85	248	静止画像
動物	10	94	立体画像
	55	55	静止画像
岩石	5	5	静止画像
合計	187	512	

これらは、フォトCD形式、ネットワークでの高画質配信や立体表現に適したフラッシュピクス形式のデータとしてコンパクトディスクに記録され、調査研究やインターネットでの公開用に活用される。岐阜県としては今年度から3年間にわたり、デジタルコンテンツ制作を計画しており、今後とも同事業を継続して進めていきたい。

<IT基礎技能講習準備>

IT(情報通信技術)普及国民運動の展開のために文部科学省が策定した学習活動支援設備整備事業(情報技術学習環境の整備)を受け、岐阜県においても高等学校や博物館等の社会教育施設にIT基礎技術講習実施のためのコンピュータ設備が整備された。

当館にも、

- ・デスクトップコンピュータ 10台
(視覚障害者対応のもの2台)
- ・ノートパソコン 40台
- ・インターネット対応設備 1式

が導入され、平成13年度に開催する一般向け講座に活用していく。

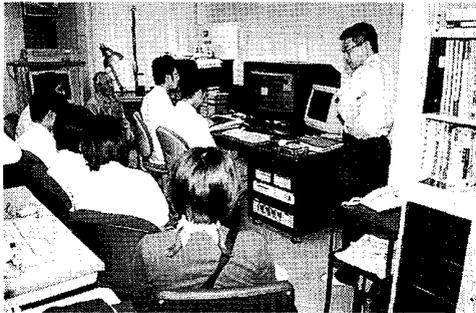
<マルチメディア工房・ぎふ>

岐阜県の情場づくりの一環で「マルチメディア工房・ぎふ」の第1号が平成7年10月1日に当館内にオープンした。以来、県民のマルチメディアソフト制作支援の場として一般に開放している。

1. 工房の利用について

サポーターの協力を得て以下の活動を行った。

- ① 高校生対象のハイビジョンマルチメディア制作講座を5～8月に計5回開催し、高校生15名（関高校9名、関商工高6名）・大学生2名（東海女子大学）計17名が参加して作品制作に取り組んだ。



- ② 同人・サポーターの協力を得て、特別展の紹介番組を制作した。
- ③ 旧徳山村の写真家、増山たづ子氏より寄贈していただいたネガフィルムのデジタルデータ化に取り組んだ。

2. ソフトコンテストについて

- ① H12.11/2 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2000のコンテストが大垣市情報工房シンクホールを会場に開催された。当館からは博物館講座を通し制作された関商工高校作「関商工へようこそ」「自然を守るお年寄り」、関高校作「七夕物語」、東海女子大学作「東海女子大学夢物語」、小垣香織氏作「土人形の世界2～語りかける人形達～」を出品した。

このうち関高校「七夕物語」は奨励賞、小垣香織氏「土人形の世界2～語りかける人形達～」はデジタルミュージアム推進協議会会長賞を受賞した。

(大会出品総数 28作品、受賞 8作品)

- ② H13.2/18 第5回「マルチメディア工房・ぎふ」ソフトコンテストが未来会館で実施された。当館からは同人の森井健作氏と共同制作の「たづ子ばあちゃんの徳山アルバム」を出品した。この作品は旧徳山村の写真家、増山たづ子氏から寄贈を受けた貴重なネガフィルムをもとに、旧徳山村で生き生きと暮らす村の人々や美しい自然を描いた作品で、優秀賞を受賞した。

(大会出品総数 92作品、優秀賞 2作品、奨励賞 8作品)

<たのしい博物館>

マルチメディア関連として「マルチメディアで探検！ 恐竜の世界」「マルチメディアで調べよう！ 日本の歴史」「マルチメディアで植物ウォッチング」「ハイビジョンで見ると岐阜」等、5回開催した。恐竜など子どもたちに人気のある内容の場合は参加者も多かった。また、「マルチメディアで調べよう！ 日本の歴史」ではCD-ROMを中心にしたクイズ形式の講座で、親子で楽しんでいただいた。

インターネット関連として、親子を対象にして様々なホームページを探索しインターネットを楽しむものと、女性を対象にインターネットを通して趣味の世界を広げるきっかけになる内容で各1回ずつ開催した。参加者も多く、インターネットに対する関心の高さを感じた。

<博物館講座>

5回連続の静止画番組制作講座のほか、3回の連続のホームページ制作講座を開催した。後者では応募者が多数になり、8名定員を10名に増やして実施した。その内9名が女性となり、半数以上の参加者が講座実施日以外に来館されて制作されるなど、特に女性の関心と意欲の高さを実感した。実際にホームページの立ち上げを目標とされた参加者も3名を越えた。



平成12年度マルチメディア工房制作番組一覧表

①自然を守るお年寄り	2' 58"	関商工高生徒	お年寄りのボランティアを紹介。
②関商工へようこそ	7' 19"	関商工高生徒	関商工高校の施設設備の紹介。
③七夕物語	7' 52"	関高校天文部	関高校天文部の撮影した写真をバックに、おばあちゃんと少女の交流を描いた。(全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2000 奨励賞受賞)
④東海女子大学夢物語	5' 8"	東海女子大学学生	学校生活の様子を物語風に描いた。
⑤土人形の世界2～語りかける人形達～	9' 59"		土人形の歴史、何うことのできる風俗・背景の紹介 (全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2000 デジタルミュージアム推進協議会会長賞)
⑥海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～	11' 10"		特別展「海を越えた明治」紹介番組
⑦たづ子ばあちゃんの徳山アルバム	9' 59"		旧徳山村の紹介番組 (第5回マルチメディア工房・ぎふソフトコンテスト 優秀賞受賞)

[教育普及活動]

1 概要

岐阜県博物館が生涯学習の場として、幼児から高齢者まで親しんでいただけるよう、事業の内容の量を増やすとともに工夫に力を入れ、積極的に広報活動に努めた。また、学校との連携・融合の考えにたち、案内・解説や出前講座を実施した。

主な本年度の事業は、特別展（2回）、資料紹介展（1回）、特別陳列（1回）、(財)岐阜県文化財保護センター主催の特別企画（1回）、マイミュージアムギャラリー展示（8回）の他、特別行事・講演会・講座・自然観察会など年間71回の催しものを実施した。その他、ギャラリー出展者が民俗楽器演奏会を自主的にを行い、総事業数は80回を超えた。

展示では、「ハンズ・オン」を積極的に取り入れ、巨大ヒノキのレプリカ・山籠や恐竜の実物化石などを用意した。催し物では、体験学習を多く取り入れた。

2 教育活動

(1) 催しもの

催しものは、講演会（8回）、博物館講座（13回）、自然観察会（9回）、たのしい博物館（35回）、特別行事（6回）など計71回であった。

今年度の催しもの主な活動概要は次の通りである。

体験学習を重視し、多く取り入れた。「恐竜ナイトツアー」・「化石をつくろう」・「化石をさがそう」や「火起こし器をつくろう」・「徳山のくらしを体験しよう」・「昔のくらしを体験しよう」・「竹でおもちゃをつくろう」などは、人気を博した。

マルチメディア情報センターとしての機能を生かす内容の充実を図った。「ハイビジョン番組制作講座」（5回）・「ホームページ制作講座」（3回）の連続講座やマルチメディアに親しむ催し物を6回実施し、大好評であった。

特別行事「七草がゆを食べよう」は470名、百年公園事務所と共催の「写生大会」は536名と、どちらも過去最高の参加者であった。「響け！和太鼓」も含め、岐阜県博物館の特色ある事業として定着してきている。

さらには、岐阜県教育委員会・岐阜県市町村教育委員会連合会主催の「岐阜県児童生徒科学作品展中央展」を昨年度に引き続いて開催したが、多くの人館者があり、岐阜県博物館で実施するよさがみられた。今後、よりいっそうの相乗効果が生じるよう、工夫に努めたい。

(2) 館内解説

特別展・資料紹介展や常設展の展示解説を積極的に行い、入館者に好評を博した。

特に、特別展「海を越えた明治」・「すばらしき東濃の自然、再発見」では、上・日曜日を中心に担当者が精力的に解説を実施した。

社会見学で入館した学校には、学校の要望に合った解説・案内を積極的に行った。

さらに、特別展・資料紹介展などの特別企画や常設展示のクイズやビンゴゲームを作成し、小学生を中心としたお子さんに好評であった。

(3) 館案内

博物館に入館した方が館内をスムーズにみることができるよう、本館2階のカウンターに解説員が常駐するとともに、解説員・教育普及係が中心となり、館内巡視を強化した。こうした試みは、入館者アンケートの内容にも反映され、入館者の方に好評であった。今後も、よりいっそうの入館者へのサービスに努めたい。

(4) 博物館における学校等の研修

学校・社会教育機関等の授業や研修を学芸員が指導・援助、講話をした。

- ・小中学校体験学習・日野小・本巣小・倉知小・金竜小・藍川中・下有知中・小金田中等の学校
- ・テレビ会議……………坂内小学校
- ・マルチメディア研修……………岐阜工業高等学校・中濃西高等学校・岐阜市立女子短期大学・中部学院大学・名城大学・県警察学校等
- ・博物館全館研修……………明宝中家庭教育学級・岐阜大学学芸員講座・県小社研・県高教研/公民・地歴部会・工業部会・県高校・特殊初任者研修会・各務原市小中教頭会・高等学校美濃地区教頭会・上石津町大学シルバー教室・中津川市中央公民館高齢者大学・付知町文化財審議委員・江南市社会福祉協議会・奈良県市町村社会主事協議会・浜松市教育委員会・岐阜市野瀬北子供会等

3 広報活動

より多くの方に、博物館に親しんでいただくためには、展示や催しものの周知を図ることが重要である。そのため、以下のことに力を注いだ。

- ・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して情報提供を積極的に行った。
- ・人が多く集まる施設にポスター・チラシの掲出依頼を積極的に行った。
- ・児童・生徒に合ったチラシ・案内文書を作成し、関市内及び近隣の学校に配布した。
- ・関市自治会員用チラシ・案内文書回覧を積極活用した。

4 博物館実習生指導

8月28日（月）から9月1日（金）までの5日間、東海女子大学（7名）・岐阜女子大学（3名）・岐阜大学（4名）・愛知教育大学（1名）・愛知県立芸術大学（3名）・静岡大学（1名）・金沢大学（1名）・筑波大学（1名）・茨城大学（1名）・愛知大学（1名）・愛知淑徳大学（2名）・金城学院大学（1名）・名城大学（6名）・皇学館大学（1名）・立教大学（1名）の15大学から34名の学生を受け入れ、実習生指導を館長・学芸部長をはじめ、学芸部職員全員で行った。実習生が充実した実習体験をすることができるよう、職員一同努めた。

5 資料の貸し出し

分野	機関名	資料名	期間(年月日)	点数
自然	多治見市立 平和中学校	哺乳類頭骨標本	H12・4・14～ H12・4・29	10
	関市立倉知 小学校	カラス	H12・4・21～ H12・4・28	2
	御嵩町 教育委員会	オオタカ	H12・6・23～ H12・6・28	3
	岐阜市立 陽南中学校	レプリカ用シリコ ン型枠	H12・7・2～ H12・7・16	50
	岐阜県 自然環境森林課	昆虫スライド	H12・7・26～ H12・8・21	7
	岐南町歴史 民俗資料館	化石	H12・7・27～ H12・9・5	30
	多治見市立 脇之島小学校	レプリカ用化石	H12・7・31～ H12・8・5	60
	揖斐川町役場 産業経済課	薬草レプリカ・標本バ ネル、アクリルケース	H12・8・7～ H12・8・10	41
	佐藤 洋志	棚田スライド	H12・8・7～ H12・8・14	8
	エコミュージアム 関ヶ原	タカ類剥製	H12・9・1～ H12・10・20	3
	岐阜市立陽南 中学校	ニホンザル骨格	H12・9・28～ H12・10・28	4

分野	機関名	資料名	期間(年月日)	点数
自然	岐阜市立 長良西小学校	昆虫標本	H12・11・11～ H12・12・10	13
	カワセミの会	動物剥製標本	H12・8・2～ H12・8・10	14
	宮崎 惇	ヘビ骨格標本	H12・11・21～ H13・1・30	1
	県広報センター	七草のスライド	H13・1・7～ H13・1・19	8
	関市倉知小学校	コジュケイ・ ヌートリア	H13・1・26～ H13・2・3	2
	岐阜市科学館	化石・光石	H13・2・20～ H13・3・28	8

6 図書資料

平成12年度現在の図書資料数は、下記の通りである。

	図書資料数 (平成13年3月20日現在)	備 考
人文関係	13,993	含刀剣文庫
自然関係	10,488	含棚橋文庫・熊田文庫
統 計	24,481	

7 平成12年度刊行物一覧

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館だより 第71号	12. 4. 1	A4 4頁	2,500	友の会増刷(350)
岐阜県博物館だより 第72号	12. 7. 1	A4 4頁	2,500	友の会増刷(350)
岐阜県博物館だより 第73号	12. 10. 1	A4 4頁	2,500	友の会増刷(350)
岐阜県博物館報 第24号	12. 4. 1	A4 37頁	1,200	
平成12年度 岐阜県博物館催しもの案内(A2判)	12. 4. 1	A2	2,500	
平成12年度 岐阜県博物館催しもの案内(A4判)	12. 4. 1	A4 3ツ折	40,000	
博物館パンフレット	13. 3. 31	A4 観音折	100,000	
ハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」利用の手引き	13. 3. 31	A4 3ツ折	10,000	
岐阜県博物館調査研究報告, Vol.23	13. 3. 31	A4 73頁	700	
特別展図録				友の会増刷
海を超えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～	12. 7. 20	A4 68頁	620	(1,000)
すばらしき東濃の自然、再発見～「大ヒノキが見てきた生き物たち」	12. 9. 23	A4 48頁	600	(1,600)
特別展図録の増刷				友の会増刷
円空さんと私	13. 3. 15	A4 51頁	0	(1,000)
特別展等のポスター・ちらし				
海を超えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～ ポスター	12. 7. 7	B2	2,200	
海を超えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～ ちらし	12. 7. 7	A4	45,000	
すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～ ポスター	12. 8. 22	B2	2,200	
すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～ ちらし	12. 8. 22	A4	45,000	
資料紹介展・特別陳列のパンフレット・冊子				
はくせいほうんちしない ちらし	12. 4. 1	A4	10,000	友の会増刷(15,000)
描かれた街道～国芳・広重の中山道～ ポスター	12. 12. 20	B2	500	
描かれた街道～国芳・広重の中山道～ ちらし	12. 12. 20	A4	8,000	友の会増刷(17,000)
マイ・ミュージアム刊行物			1,000	
マイ・コレクション第39号	12. 4. 5	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第40号	12. 5. 14	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第41号	12. 6. 25	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第42号	12. 8. 13	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第43号	12. 9. 23	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第44号	12. 11. 12	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第45号	13. 1. 4	A4 4頁	1,000	
マイ・コレクション第46号	13. 2. 11	A4 4頁	1,000	
マイミュージアムギャラリー ポスター	12. 4. 1	B2	1,000	
マイミュージアムギャラリー ちらし	12. 4. 1	A4	10,000	
マイミュージアムギャラリー DMハガキ	12. 4. 1	ハガキ	10,000	

平成12年度の催しもの結果一覧

事業名	期日	対象	定員	内容	参加人員
特別展講演会	7/30	一般	130	万国博覧会の華 七宝焼 名古屋市博物館学芸員	小川 幹夫さん
	8/6	一般	130	世界に進出した美濃焼 多治見市文化財保護センター	小木曾郁夫さん
	8/20	一般	130	万国博覧会と日本の工芸 東京国立博物館陶磁室長	伊藤 嘉章さん
	10/1	一般	130	ヒトツバタゴ(なんじゃもんじゃ)の不思議 貴山女学園大学名誉教授	太田 敬久さん
特別展講演会	11/19	一般	130	東濃のミカワバイケイソウを探る 岐阜大学教授	高橋 弘さん
特別行事講演会	10/29	一般	130	花石ゼミナール2 講演会「岐阜が熱帯であったころ」 名古屋大学名誉教授	糸魚川淳三さん
特別企画講演会	12/10	一般	130	縄文時代の山と海の暮らし 奈良大学教授	京 拓良さん
	1/14	一般	130	センター設立10年に寄せて 三重大学名誉教授	八賀 晋さん
博物館講座	5/6	教育関係者	40	バードカービング教室1 野鳥彫刻家	内山 春雄さん
	6/10	高校生以上	8	ハイビジョン番組を作ってみよう ①	
	6/24	高校生以上	8	ハイビジョン番組を作ってみよう ②	
	7/16	高校生以上	8	ハイビジョン番組を作ってみよう ③	
	7/20	高校生以上	130	明治 新しい時代の到来	
	8/5	高校生以上	8	ハイビジョン番組を作ってみよう ④	
	8/13	高校生以上	130	美術工芸品に見る日欧文化の交流 近代日本美術工芸研究会	三輪 芳明さん
	8/26	高校生以上	8	ハイビジョン番組を作ってみよう ⑤	
	1/14	高校生以上	8	ホームページ制作講座 ①	
	1/28	高校生以上	8	ホームページ制作講座 ②	
2/18	高校生以上	8	ホームページ制作講座 ③		
3/4	一般	130	インターネット技術の進化と現状		
3/18	一般	130	中山道と宿場町		
自然観察会	5/5	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう1(しかけ)	
	5/21	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう1(採集)	
	8/10	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう2(しかけ)	
	8/24	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう2(採集)	
	8/27	一般	20	サワギキョウを見る会	
	9/3	一般	20	モウセンゴケのじゅうたんをのぞこう	
	10/28	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう3(しかけ)	
	11/11	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう3(採集)	
2/4	一般	20	百年公園のバードウォッチング 塚原 博良さん		
たのしい博物館	4/16	一般	20	観察のこみちを歩こう1	
	4/22	一般	40	ハイビジョンで見る ふるさと岐阜	
	4/30	一般	30	火起こし器をつくろう	
	5/7	一般	40	親子バードカービング教室2 野鳥彫刻家 内山 春雄さん	
	5/28	一般	40	化石をつくろう1	
	6/11	一般	20	観察のこみちを歩こう2	
	6/18	一般	40	陶芸教室～茶碗をつくろう～ 陶芸家 岡田孝司・春海さん	
	7/2	親子	40	竹細工～竹でおもちゃをつくろう～ 竹細工師 石原 文雄さん	
	7/8	一般	40	クイズで探検！博物館	
	7/22	一般	40	のぞいてみよう楽しいインターネットの世界	
	7/23	一般	30	染付(印版)の湯呑みをつくろう	
	7/29	親子	40	恐竜ナイトツアー(夜の博物館探検・7/30 10:00終了)	
	8/12	一般	20	観察のこみちを歩こう3	
	8/17	一般	30	化石をつくろう2	
	8/19	小学生以上	40	マルチメディアで再現！日本の歴史	
	8/27	一般	30	七宝のペンダントをつくろう	
	9/2	一般	50	西浦の吹絵技法によるフェアリーランプの夕べ 近代日本美術工芸研究会のみなさん	
	9/10	女性	40	インターネットで広がる充実ライフ情報	
	9/15	一般	40	竹細工～竹籠をつくろう～ 竹細工師 石原 文雄さん	
	9/17	一般	40	ハイビジョンで見る ふるさと岐阜	
	9/24	一般	40	クイズで探検！博物館	
	10/8	一般	40	徳山のくらしを体験しよう 旧徳山民家所有者 宮川 澄雄さん	
10/14	小学生以上	40	マルチメディアで植物ウォッチング		
10/15	親子	20	ヒノキのネームプレートづくり		
10/22	親子	20	リクク草木染め体験		
11/12	一般	60	あなたもそばうち名人		
11/12	親子	40	森の造形教室～森にすむ動物をつくろう～ 造形作家 水野 政雄さん		
11/25	小学生以上	40	マルチメディアで探検！恐竜の世界		
12/3	一般	40	ひこうき風をつくろう		
12/17	一般	40	わら細工～正月の飾りをつくろう～ わら細工師 山口 嘉蔵さん		
12/23	一般	40	花もちをつくろう 飛騨ファームランド代表 北村 隆嗣さん		
1/6	一般	20	観察のこみちを歩こう4(七草ウォッチング)		
2/25	親子	40	昔のくらしを体験しよう		
3/11	一般	20	観察のこみちを歩こう5		
3/25	一般	40	クイズで探検！博物館		
特別行事	4/29	一般	300	グリーンアドベンチャー 大垣工業高等学校太鼓部のみなさん	
	5/3	一般	40	響け！和太鼓	
	10/29	一般	40	化石ゼミナール1～化石をつくろう～	
	11/3	一般	400	百年公園・博物館を写生しよう	
	11/5	一般	40	化石ゼミナール3～化石をさがそう～	
	1/7	一般	400	七草がゆを食べよう	

事業名	実施期間	主 内 容	観覧人員
春休み ハイビジョン特別番組の上映	4月1日(土)～7日(金)	行ってみたい中央ヨーロッパ、アラジンの大冒険、ドナルド大好き等上映	1,715
夏休み ハイビジョン特別番組の上映	7月20日(木)～ 8月31日(木)	銀河の魚、ニューヨーク空中散歩、ジェラシックパーク、根尾谷薄墨楼、白川郷に残る日本人の心等上映	5,370

【図書資料寄贈者芳名一覧】

(平成12年3月1日～
平成13年2月28日) (順字不同)

【博物館関係】

国立歴史民俗博物館	埼玉県立さいたま資料館	厚木市郷土資料館	博物館明治村
東京国立博物館	八田市立郷土博物館	山梨県立科学館	リトルワールド
国立科学博物館	さいたま川の博物館	上田市立博物館	瀬戸市歴史民俗資料館
科学技術館	人間市博物館	上田市立信濃国分寺資料館	日本モンキーセンター
東京国立近代美術館	行田市郷土博物館	松本市立博物館	愛知県陶磁資料館
国立科学博物館附属自然教育園	埼玉県立自然史博物館	長野市立博物館	豊田市郷土資料館
京都国立博物館	千葉県立中央博物館	長野県立歴史館	豊田市美術館
国立民族学博物館	海の博物館	さらしなの里歴史資料館	豊橋市美術館
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館	我孫子市鳥の博物館	飯田市美術館博物館	豊橋市自然史博物館
北海道開拓の村	市立市川自然博物館	飯田市土郷考古博物館	豊橋市二川宿本陣資料館
北海道開拓記念館	千葉市加曾利貝塚博物館	山と博物館	豊橋市地下資源館
北海道立北方民族博物館	千葉県立現代産業科学館	須坂市立博物館	岡崎市郷土資料館
釧路市立博物館	千葉県立大根博物館	信濃町立野尻湖ナウマンゾウ博物館	岡崎市美術博物館
苫小牧市博物館	千葉県立上総博物館	信州新町化石博物館	安城市歴史博物館
斜里町立知床博物館	千葉県立総南博物館	富士見町博物館	知立市歴史民俗資料館
市立函館博物館	千葉県立安房博物館	柏崎市立博物館	蒲郡市博物館
札幌市豊平川さけ科学館	千葉県立房総のむら	長岡市立科学博物館	常滑市民俗資料館
足寄動物化石博物館	千葉県立房総風土記の丘	新潟県立歴史博物館	半田市立博物館
根室市博物館開設準備室	千葉県立関宿城博物館	富山県中央植物園	尾西市歴史民俗資料館
上士幌町ひがし大雪博物館	千葉市美術館	富山市郷土博物館	岩内市青少年海の科学館
浦幌町立博物館	憲政記念館	富山市科学文化センター	とよタ博物館
三陸市立博物館	八千代市立博物館	魚津水族館	名古屋ホストン美術館
徳別町立博物館	足立区立郷土博物館	富山県立立山博物館	大田町歴史民俗資料館
利尻町立博物館	板橋区立郷土資料館	松任市立博物館	飯江町歴史民俗資料館
青森県立郷土館	大田区立郷土博物館	立山カルデラ砂防博物館	産業技術記念館
八戸市博物館	紙の博物館	石川県立歴史博物館	御在所自然科学博物館・日本カモシカセンター
岩手県立博物館	たばこと塩の博物館	石川県立美術館	四日市市立博物館
北上市立鬼の館	東京都江戸東京博物館	石川県輪島漆芸美術館	神宮徴古館農業館
牛の博物館	町田市立博物館	小松市立博物館	桑名市博物館
農業科学博物館	世田谷区立郷土資料館	のと海洋ふれあいセンター	鳥羽水族館
仙台市博物館	福生市郷土資料室	松任市立中川一政記念美術館	斎宮歴史博物館
仙台市科学館	家具の博物館	福井県立恐竜博物館	大津市歴史博物館
仙台市富沢遺跡保存館	豊島区立郷土資料館	福井市立若狭歴史民俗資料館	滋賀県立近代美術館
斎藤藤恩会自然史博物館	三井文庫	福井県立博物館	滋賀県立琵琶湖文化館
仙台市歴史民俗資料館	北区飛鳥山博物館	福井市自然史博物館	滋賀県立琵琶湖博物館
東北歴史博物館	久米美術館	福井県自然保護センター	彦根城博物館
地底の森ミュージアム	港区立港郷土資料館	福井県立一乗朝倉氏遺跡資料館	滋賀県立安土城考古博物館
秋田県立博物館	サントリー美術館	敦賀市立博物館	滋賀県立陶芸の森
山形県立博物館	江戸東京たてもの園	高浜町郷土資料館	市立長浜城歴史博物館
山形美術館	調布市郷土博物館	静岡県立美術館	伊吹山文化資料館
致道博物館	府中市郷土の森博物館	静岡市立登呂博物館	栗東歴史民俗博物館
県立うきたむ風土記の丘考古資料館	東京都高尾自然科学博物館	上原仏教美術振興財団	細身美術館
福島県立博物館	昭和館	久能山東照宮博物館	京都府立総合資料館
三春町歴史民俗資料館	貨幣博物館	沼津市歴史民俗資料館	京都文化博物館
茨城県立歴史館	神奈川県立歴史博物館	沼津市明治史料館	園部文化博物館
土浦市立博物館	神奈川県立金沢文庫	焼津市歴史民俗資料館	雲山歴史館
日立市郷土博物館	馬の博物館	藤枝市郷土博物館	京都府立丹後郷土資料館
ミュージアムパーク茨城県自然博物館	横浜マリタイムミュージアム	浜松市博物館	大阪市立博物館
栃木県立博物館	横浜市歴史博物館	愛知県美術館	大阪市立美術館
小山市立博物館	海洋科学技術センター	愛知芸術文化センター	大阪市立科学館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館	小田原市郷土文化館	徳川美術館	大阪市立自然歴史博物館
群馬県立歴史博物館	川崎市市民ミュージアム	熱田神宮宝物館	大阪入権博物館
群馬県立自然史博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館	名古屋博物館	吹田市立博物館
富岡市立美術博物館 福沢一郎記念美術館	平塚市博物館	名古屋市長市政資料館	大阪府立弥生文化博物館
浦和市立郷土博物館	秦野市立桜土手古墳展示館	名古屋科学館	柏原市立歴史資料館
埼玉県立博物館	鎌倉町宝館	名古屋美術館	岸和田市立郷土資料館
	横須賀市自然人文博物館	でんきの科学館	池田市立歴史民俗資料館
	箱根町立森のふれあい館	名古屋市見晴台考古資料館	大阪府立近つ飛鳥博物館
	相模原市立博物館	宮市博物館	神戸市立博物館
			神戸市立小磯記念美術館

兵庫県立歴史博物館
日本玩具博物館
姫路市書写の里・美術工芸館
姫路市立水族館
西宮市大谷記念美術館
明石市文化博物館
尾崎歴史博物館準備室
兵庫県立人と自然の博物館
大和文華館
県立橿原考古学研究所附属博物館
辰馬考古資料館
奈良県立民俗博物館
奈良県立美術館
和歌山県立博物館
和歌山県立自然博物館
渡辺美術館
鳥根県立博物館
林原自然科学博物館
岡山県立美術館
岡山県立吉備路郷土館
津山洋学資料館
倉敷市立自然史博物館
広島市安佐動物公園
広島県立美術館
広島県立歴史博物館
日本はきもの博物館・郷土玩具博物館
広島市森林公園昆虫館
下関市立考古博物館
山口県立山口博物館
防府市青少年科学館
美祿市歴史民俗資料館
秋吉台科学博物館
徳島県立博物館
徳島市立徳島城博物館
高松市歴史資料館
香川県自然科学館
香川県歴史博物館
愛媛県立博物館
愛媛県総合科学博物館
愛媛県歴史文化博物館
高知市立自由市民権記念館
高知県立歴史民俗資料館
土佐市内家宝物資料館
福岡市総合図書館
芦屋町歴史民俗資料館
福岡市美術館
福岡市博物館
福岡県青少年科学館
北九州市立歴史博物館
北九州市立自然史博物館
九州歴史資料館
佐賀県立博物館／美術館
長崎県立美術館
熊本県立美術館
熊本市立熊本博物館
熊本県立装飾古墳館
大分県立宇佐風土記の丘民俗資料館
大分県立歴史博物館
大分県立先哲史料館
宮崎県総合博物館
みやざき歴史文化館
椎葉民俗芸能博物館

鹿児島県立博物館
鹿児島市立美術館
鹿児島県歴史資料センター黎明館
ミュージアム知覧
原野農芸博物館
名護博物館
那覇市立壺屋焼物博物館
岐阜県博物館
岐阜県歴史資料館
岐阜県美術館
岐阜県図書館
笠松町歴史民俗資料館
大垣市立図書館
かかみがはら航空宇宙博物館
名和昆虫博物館
岐阜県陶磁資料館
岐阜市歴史博物館
岐阜市科学館
加藤栄三・東一記念館
大松美術館
各務原市歴史民俗資料館
内藤記念くすり博物館
森の文化博物館
河川環境楽園
タライピアセンター
美濃和紙の里会館
海津町歴史民俗資料館
揖斐川町歴史民俗資料館
可見郷土資料館
みのかも文化の森／市民ミュージアム
こども陶器博物館
瑞浪市化石博物館
瑞浪市市之瀬廣太郎記念館
瑞浪市陶磁資料館
中山道みたけ館
ミュージアム中仙道
中山道広重美術館
中津川市鉱物博物館
中津川市博物館
飛騨の山樵館
飛騨みやがわ考古民俗館
高山市郷土館
日本最古の石博物館

【博物館協会】

日本博物館協会
岐阜県博物館協会
全国科学博物館協議会
京都市内博物館施設連絡協議会
岡山県博物館協議会
デジタル・ミュージアム推進協議会

【役所関係】

青森県環境生活部県史編さん室
文部科学省大臣官房
日本財団
文部科学省
文化庁文化財保護部
日本科学技術振興財団
科学技術振興事業団
日本原子力文化振興財団
宇宙開発事業団

綾瀬市市史編集室
福井県自然保護課
愛知県県史編さん室
名古屋植物防疫所
名古屋城管理事務所
国土交通省中部地方建設局
中部森林管理局名古屋分局
木曾川下流工事事務所
三重県政策広聴広報課
下関市市史編修室
国土交通省自然共生研究センター
岐阜県自然環境森林課
岐阜県地域県民部
岐阜県農業技術研究所
岐阜県保健環境研究所
岐阜県水産試験所
岐阜県広報センター
花の都ぎふ推進センター
岐阜県産業経済振興センター
水資源開発公団徳山ダム建設所
岐阜市文化センター
大垣市文化事業団
飛騨教育事務所
高富町役場
藤橋村役場
可見市役所
平田町役場
関市役所
土岐市役所
川島町役場
大垣市文化会館
多治見市文化会館
各務原市民会館
ソフピアジャパン

【教育委員会関係】

北海道教育庁生涯学習部文化課
青森県教育委員会
佐野市教育委員会
群馬県教育委員会
秩父市教育委員会
世田谷区教育委員会
神奈川県教育委員会
厚木市教育委員会
藤沢市教育委員会
松本市教育委員会
白峰村教育委員会
岡崎市教育委員会
安城市教育委員会
春日井市教育委員会
一宮町教育委員会
江南市教育委員会
四日市市教育委員会
津市教育委員会
龟山市教育委員会
安濃町教育委員会
多度町教育委員会
滋賀県教育委員会
京都市教育委員会
京田辺市教育委員会
長岡京市教育委員会
大阪市教育委員会

泉佐野市教育委員会
能勢町教育委員会
姫路市教育委員会
福岡県教育庁総務部
甘木市教育委員会
三好町教育委員会
長崎県教育委員会
岐阜県教育委員会
岐阜県総合教育センター
岐阜県生涯学習センター
羽島郡四町教育委員会
各務原市教育委員会
大垣市教育委員会
真正町教育委員会
関市教育委員会
池田町教育委員会
大和町教育委員会
可見市教育委員会
富加町教育委員会
多治見市教育委員会
恵那市教育委員会
付知町教育委員会
丹生川村教育委員会
土室村教育委員会
関ヶ原青少年自然の家
御嶽少年自然の家
岐阜市少年自然の家
岐阜県高等学校教育研究会
岐阜県小中学校長
岐阜県小学校社会科研究会
岐阜教育会
岐阜県高等学校長協会
岐阜県高等学校理科助手研究会
岐阜県PTA連合会
岐阜県郷土資料研究協議会
岐阜県高等学校地理教育研究会
岐阜地理学会

【学校関係】

秋田大学工学資源学部付属鉱業博物館
東北芸術工科大学東北文化研究センター
東北大学総合学術博物館
東北大学大学院美学美術史研究室
山形大学附属博物館
筑波大学歴史人類学系
筑波大学地球科学系図書館
筑波大学図書館部情報管理課
図書館情報大学付属図書館
跡見学園女子大学花隈記念資料館
川科学園女子大学図書館
東京大学史料編纂所
学習院大学
國學院高等学校
お茶の水女子大学芸術課程
東京農工大学附属織維博物館
実践女子大学博物館学課程研究室
実践女子大学美学美術史学科研究室
立教大学学芸員課程研究室
東京大学地震研究所
多摩美術大学宗教美術研究会
武蔵野美術大学
早稲田大学會津八一記念博物館

慶応義塾大学文学部美学美術史学研究室
国学院大学考古学資料館
東京農業大学農業資料室
国学院大学博物館学研究室
日本大学文学部地球システム科
日本大学生物資源科学部資料館
明治大学博物館
明治大学考古学博物館
東京家政学院生活文化博物館
神奈川大学日本常民文化研究所
東海大学校地内遺跡調査団
総合研究大学院大学
帝京大学山梨文化財研究所
新潟大学理学部地質学科教室図書館
金沢美術工芸大学図書館
静岡大学理学部地球学科教室
東海大学社会教育センター
南山大学人類学博物館
名古屋大学年代測定資料研究センター
名古屋大学大気水圏科学研究所
名古屋女子大学短期大学部美術研究室
名古屋女子大学生生活科学研究所
名古屋経済大学・市邨学園短期大学自然科学研究会
名古屋経済大学・市邨学園短期大学地域社会研究会
名古屋経済大学・市邨学園短期大学人文科学研究会
名古屋経済大学・市邨学園短期大学学術研究センター
名古屋造形芸術大学附属図書館
愛知大学総合郷土研究所
愛知大学文学部
愛知大学豊橋教務課
愛知県立芸術大学日本画研究室
滋賀県立大学人間文化学部
種智院大学密教資料研究所
京都工芸繊維大学美術工芸資料館
京都大学総合博物館
京都橘女子大学
立命館大学国際平和ミュージアム
立命館大学文学部
仏教大学総合研究所
同志社大学歴史資料館
関西大学博物館
大阪大学文学研究科考古学研究室
近畿大学民俗学研究所
神戸女子大学能楽資料室
天理大学附属天理参考館
九州産業大学芸術学会
九州大学総合研究博物館
可見高等学校
関市立関商工高等学校
岐阜農林高等学校
岐阜大学教育学部
岐阜市立女子短期大学
東海女子大学
岐阜聖徳学園大学
中部学院大学・中部学院大学短期大学部
岐阜経済大学
岐阜経済大学地域経済研究所
大垣女子短期大学
岐阜医療技術短期大学
地方自治大学校

〔研究機関・出版社・その他〕

東京国立文化財研究所
宮内庁三の丸尚蔵館
宮内庁正倉院事務所
奈良国立文化財研究所
アイヌ文化振興・研究推進機構
北海道立アイヌ民族文化研究センター
北網圏北見文化センター
上湧別町ふるさと館 J R Y
青森県埋蔵文化財調査センター
東北電力
日本うるし掻き技術保存会
彩湖自然学習センター
福島市児童文化センター
地質調査所
栃木県埋蔵文化財センター
松井田町遺跡調査会
埼玉県立民俗文化センター
朝霞市泉水山・ドノ原遺跡調査会
千葉県文化財センター
山武考古学研究所
社会教育研修所
東レ科学振興会
生物多様性センター
文化環境研究所
山武
発明協会
日本芸術文化振興会
全国過疎地域活性化連盟
日本ユネスコ協会連盟
日本昆虫協会
河川環境管理財団
日本地震学会
機械産業記念事業団
日本工学会
日本自然保護協会
国画会事務局
自然環境研究センター
平和祈念事業特別基金
バルテノン多摩
ポーラ伝統文化振興財団
都立学校遺跡調査会
千代田区四番町遺跡調査会
日本ナショナルトラスト
東京貝類同好会
丹精研究所・文化空間研究所
マルチメディア振興センター
アジア女性基金
地域創造
東京都埋蔵文化財センター
都内遺跡調査会
日本文化芸術財団
日本美術院
美術倶楽部
地域開発研究所
伝統的工芸品産業振興協会
落川・一の宮遺跡調査会
リバーフロント整備センター
かながわ考古学財団
玉川文化財研究所
川崎市立日本民家園
平岡環境科学研究所

神奈川自然保全研究会
伊勢原市NO.160遺跡発掘調査団
大蔵東原遺跡発掘調査団
神奈川県立自然保護センタ
松代藩文化施設管理事務所
富山県埋蔵文化財調査事務所
富山県埋蔵文化財センター
石川県自由自然保護センター
福井県埋蔵文化財調査センター
鴨池観察館
静岡県埋蔵文化財調査研究所
愛知県埋蔵文化財センター
愛知県文化振興事業団
中部建設協会
淡水魚類研究会
中部日本書道会
東海考古学フォーラム
中部蜘蛛懇談会
津市埋蔵文化財センター
三重動物学会
滋賀県埋蔵文化財センター
滋賀民俗学会
滋賀県琵琶湖研究所
日本イヌソシ研究会
楽婆文化財修理所
中信美術奨励基金
坂田郡社会教育研究会文化財部会
京都科学
京都服飾文化研究財団
国民融合をめざす部落問題全国会議
古代学協会
国際日本文化研究センター
阪神間ミュージアムネットワーク推進実行委員会
日本生命財団
神戸市埋蔵文化財センター
コクヨ株式会社
大阪府文化財調査研究センター
黒川古文化研究所
国際美評
ユネスコ・アジア文化センター
元興寺文化財研究所
シルクロード学研究センタ
岡山県自然保護センタ
徳島県埋蔵文化財センター
香川県埋蔵文化財調査センター
広島市文化財団
(株)熊平製作所
比婆科学教育振興会
福岡市埋蔵文化財センター
原の辻遺跡調査事務所
岐阜県博物館友の会
岐阜県文化財保護協会
岐阜県文化財保護センター
岐阜県歴史資料保存協会
世界文化村ぎふ運営協議会
創価学会岐阜県広報部
感斎研究会
各務原市埋蔵文化財調査センター
多治見市文化財保護センター
日本教育会
岐阜県昆虫同好会
養老文化財保護協会

大垣市文教協会
大垣市文化財保護協会
岐阜県民主同和促進協議会
岐阜県同和教育協議会
東海地理研究会
美濃民俗文化の会
霊山顕彰会岐阜県支部
岐阜県哺乳動物調査研究会
日本野鳥の会 岐阜県支部
岐阜県超古代文化研究会
八幡町文化財保護協会
武儀農業改良普及センタ
関市春日神社
飛騨考古学会
日本美術刀剣新聞社
岩波書店
美術年鑑社
ぎょうせい
続群書類従完成会
東京美術
ナツメ出版企画
郡上史談会
書道心画院
西白川書房
西美濃わか街社
平凡社
山川出版社
(株) 藤圭
小学館
コスモ石油(株)
淡交社
京都新聞社
岐阜新聞情報センター

〔個人〕

宮崎 惇
森 純
石田 明乗
安藤 善之
篠原 亨
大澤 真美
増山たづ子
須賀 瑛文
坂口 達夫
佐藤 文彦
船越進太郎
石原 宣夫
川合 章
中島 泉
林 賢司
田島 一男
所 通子
小野木昌繁
千賀 耕平
樋口 久吉
田中 正弘
乾 實
清水 昭男
青木 豊

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数50,848人で前年に比べて33,985人40.1%の減少となった。これは、夏の特別展「海を渡った明治」及び秋の特別展「すばらしき東濃の自然」が前年度特別展に比較して入館者が少なかったことが影響している。

また、開館日数は307日であり、1日平均の入館者数は166人であった。また、1日の入館者が最も多かった日は、11月3日で1,130人を数えた。月別入館者数は右表のとおりである。団体入館者数をみると1,549人で、入館総数の約0.03%であった。月別では8月が303人で一番多く、団体入館者総数の19.6%を占めている。

春季特別展及び秋季特別展期間中入館者数は下表のとおりである。入館総数は25,505人を数え、1日平均は250人であった。

月	小中高生	大学生	一般	計	開館日数	1日平均
4	1,626	38	2,234	3,898	26	150
5	2,533	52	3,035	5,620	26	216
6	1,666	103	1,818	3,587	26	138
7	953	157	1,946	3,056	26	118
8	1,586	103	4,275	5,964	27	221
9	906	52	3,013	3,971	26	153
10	4,442	90	2,664	7,196	26	277
11	3,043	33	4,429	7,505	26	289
12	370	17	1,802	2,189	23	95
1	561	29	1,711	2,301	24	96
2	733	69	1,371	2,173	24	91
3	1,023	27	2,338	3,388	27	125
計	19,442	770	30,636	50,848	307	166

特別展名	期間	小中高生	大学生	一般	計
海を渡った明治	7/20～9/10	2,426	199	7,529	10,154
すばらしき東濃の自然、再発見	9/23～11/26	7,727	136	7,488	15,351
計	—————	10,153	335	15,017	25,505

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の利用者は、次のとおりであった。

〈講堂〉

4/23	岐阜県警察学校初任科生研修
4/26	岐阜県文化行政担当課長会議
4/27	岐阜県文楽・能保存振興協議会総会
5/26	岐阜県小学校社会科研究部会研修会
5/28	里山林整備ボランティアリーダー育成講座
6/5	岐阜県小中学校教育研究会技術家庭科研究部会
9/7	岐阜県高等学校教育研究会公民地歴部会
6/13	岐阜県高等学校特殊初任者研修
6/18	岐阜野尻湖友の会学習会
6/25	里山林整備ボランティアリーダー育成講座
8/1	岐阜市小中学校教育研究会研修会
8/2	中部学院大学社会教育課題研究学外研修
8/18	岐阜県理科教育研究会研究発表会
8/22	警察友の会中濃支部研修会
9/27	坂下町文化財審議会研修会
10/14	岐阜大学教育学部博物館資料演習講座
10/21	岐阜大学教育学部博物館資料演習講座
10/28	岐阜大学教育学部博物館資料演習講座
11/4	岐阜大学教育学部博物館資料演習講座
11/11	岐阜大学教育学部博物館資料演習講座
10/17	岐阜県高等学校理化教育研究会・化学委員会
11/3～5	岐阜県教育センター科学作品展
1/11	岐阜県高等学校教頭協会普通科部会
2/3	岐阜県中学校技術家庭科研究部会代議員会
2/20	岐阜県小学校社会科研究部会代議員会

〈研修室〉

4/29	岐阜県哺乳動物調査研究会研修会
6/3	中濃西高等学校数理数科学習と研修
7/15	岐南若葉旬会研修会
7/23	里山林整備ボランティアリーダー育成講座
8/22	美濃地区高等学校英語科教員ワークショップ
9/27	岐阜県高等学校教育研究会教頭部会美濃地区
10/31	関市小中学校教育研究会環境教育部会研修会
11/24	関市立倉知小学校研修会

〈ハイビジョンホール〉

11/10	岐阜県化学研究会
10/9	岐阜県警察学校初任科生研修
2/26	文化財保護行政担当者会議

〈郷土学習室〉

8/22	岐阜東高等学校生物科学同好会研修会
------	-------------------

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座（年4回）、機関紙発行（季刊）、会員研修会（年3回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した。

主な役員は次のとおり。

名誉会長…梶原拓、会長…浅野勇、副会長…青木允夫、上野守、遠藤祐神、理事長…松本五三、事務局は岐阜県博物館内にある。

〈主な事業〉

5/8	役員会及び通常総会
7/2	第84回公開講座
6/2	機関紙委員会
6/14	第46回会員研修会
7/11～12	東海地区博物館連絡協議会総会
7/30	第85回公開講座
7/31	機関紙「岐阜の博物館」第130号発行
9/7～8	第47回会員研修会
10/29	第86回公開講座
10/31～11/1	東海三県博物館協会交流研修会
10/31	機関紙「岐阜の博物館」第131号発行
11/9～10	全国博物館大会
11/21	第48回会員研修会
12/28	機関紙「岐阜の博物館」第132号発行
2/9	会員研修委員会
2/17	第87回公開講座
2/17	公開講座委員会
3/5	常任理事会
3/31	機関紙「岐阜の博物館」第133号発行

2 岐阜県博物館友の会

今年度は一般会員数505名、後援会員27口で昨年度に比べ会員数が増加した。会員数増加は会員個々の生涯学習活動への参加意欲の高まりや、探訪の旅の充実、博物館普及係による会員数増加のための広報活動、会員によるクチコミの結果であると考えられる。

友の会の中心行事である探訪の旅は4回行なった。

第1回(5月17日)京都探訪の旅(大覚寺、龍安寺、京都刺繍会館)大覚寺、龍安寺ともに特別拝観を行った。大覚寺での薄茶のもてなしは一日の旅の疲れを忘れさせてくれた。参加者87名

第2回(9月17~23日)海外探訪の旅(中国・山西探訪)雲崗石窟をメインに懸空寺、華嚴寺、玄中寺等を探訪、いずれも現地専門家による特別解説がつき、充実した探訪であった。今回で中国三大石窟をすべて探訪したことになる。参加者39名

第3回(11月6日)奈良探訪の旅(正倉院展、薬師寺)薬師寺では岐阜県出身の副執事、村上太胤氏の特別のはからいにより、三重の塔の内部、建築中の講堂まで見せていただいた。講堂の大屋根の瓦に直接手を触れるなど、感激もひとしおであった。参加者125名

第4回(3月4日)常滑探訪の旅(世界タイル博物館、常滑市街)常滑市のボランティアの方々の案内で10班に分かれて市内探訪を行った。今までにない家庭的な雰囲気での探訪であった。参加者117名

いずれの探訪も車中、学芸員の解説や関連事項のビデオを鑑賞、現地では専門家の解説を依頼するなどした。また、いずれの探訪の旅も定員を超え、参加者からは多くの質問が出るなど有意義な探訪の旅であった。

会員によるボランティア活動

昨年までは、七草粥の時のみであったが、本年度より七草粥の時は勿論であるが、夏・秋の特別展や、博物館との共催事業においてもボランティアとして活動をした。生涯学習の立場からも、また、友の会の設立主旨からも今後はこの方面においても更なる充実を図ることができればと考えている。

特別展・講演会は東京国立博物館陶磁室長伊藤嘉章氏による「万国博覧会日本の工芸」の講演を、また、バードカービングやフェアリーランプの夕べなどを行い、多数の参加者を得て、盛況裏に終えることができた。

恒例になった、特別行事「七草がゆをたべよう」は、会員のボランティア活動として定着しており、特に今年度は日曜日でもあり400食を準備したが、最後の方々には召し上がっていただくことができないほど、無病息災を願う人たちが賑わった。

博物館の普及活動については、特別陳列の「描かれた街道」展や特別紹介展「ようこそ、石の世界へ」のチラシの印刷や特別展の図録「海を越えた明治」、「すばらしき東濃の自然、再発見」の発行を行なった。

来年度も、会員の確保、探訪の旅の充実とともに博物館の特別展や講座、催し物への会員の積極的な参加やボランティア活動への参加を呼びかけ、「博物館事業の普及、会員相互の教養と親睦」を深め、「魅力ある友の会」、「誰でも気軽に参加できる友の会」を目指し、今年度の反省をもとに健全な運営、創意工夫ある企画を進めたい。

平成12年度の主な事業、行事は次の通りである。

- 1 会議

役員会	4月23日	総会	4月23日
役員会	11月3日	三役会	2月23日
探訪の旅委員会	5/23, 6/21, 9/12, 2/2		
- 2 研修事業
 - (1) 探訪の旅

本物の京都を訪ねて	5/17	87名
中国・山西雲崗石窟を訪ねて	9/17~23	39名
正倉院展・薬師寺を訪ねて	11/6	125名
七古窯の一つ常滑焼を訪ねて	3/4	117名
 - (2) 文化講演会

「万国博覧会と日本の工芸」	東京国立博物館
伊藤嘉章先生	8/20
- 3 会報発行

第63号~第66号	A4 6頁	各400部
-----------	-------	-------
- 4 資料などの作成と頒布
 - (1) 特別展図録「海を越えた明治」 1000冊
 - 「すばらしき東濃の自然」 1600冊
 - (2) 「描かれた街道」展チラシ作成 14000枚
 - 「ようこそ、石の世界へ」展チラシ作成 8000枚
- 5 その他
 - (1) 博物館との共催事業の実施

特別行事	「百年公園・博物館を写生しよう」
	「岐阜の化石ゼミナール」
	「七草がゆを食べよう」
たのしい博物館	「火起こし器を作ろう」
	「クイズで探検!! 博物館」 2回
	「化石をつくろう」 3回
	「恐竜ナイトツアー」 2回
	「フェアリーランプの夕べ」
博物館講座	「バードカービング」 2回
「博物館だより」増刷	71~73号 各350部
 - (2) 会員入館料の補助と図書への寄贈

特別展、常設館入館料補助	
博物館図書資料の寄贈	

